

## 平成29年度 第4回 平群町地域公共交通会議 議事次第

日時：平成30年2月28日（木）10:00～

場所：商工会館 2階会議室

- 1 開会
- 2 前回の議事概要の確認  
【資料-1（P1-3）参照】
- 3 コミュニティバスのH29年12月末利用実績報告  
【資料-2（P4-17）参照】
- 4 ゆめさとこども園のH29年12月末利用状況報告  
【資料-3（P18-20）参照】
- 5 新設停留所の利用状況（H29年4～12月期）報告  
【資料-4（P21-22）参照】
- 6 視察研修報告  
【資料-5（P23-25）参照】
- 7 議事  
議案第1号 平成30年度事業計画（案）  
【資料-6（P26）参照】  
議案第2号 平成30年度予算（案）  
【資料-7（P27）参照】
- 8 平群町コミュニティバス新ルート図・新ダイヤ表  
【資料-8（P28-29）参照】
- 9 平群町コミュニティバス需要予測  
【資料-9（P30-35）参照】
- 10 その他

### 【配付資料】

- 資料-1：平成29年度 第3回平群町地域公共交通会議 議事要旨
- 資料-2：平成29年12月末コミュニティバス利用実績
- 資料-3：平成29年12月末ゆめさとこども園の利用状況
- 資料-4：新設停留所の利用状況（H29年4～12月期）
- 資料-5：視察研修報告
- 資料-6：平成30年度事業計画（案）
- 資料-7：平成30年度予算（案）
- 資料-8：平群町コミュニティバス新ルート図・新ダイヤ表
- 資料-9：平群町コミュニティバス需要予測

## 平成２９年度 第３回平群町地域公共交通会議 議事要旨

日 時 平成２９年１１月３０日（木） １０時～１２時  
場 所 商工会館 ２階会議室  
出 席 者 １９名

- １ 開会
- ２ 前回の議事概要の確認
- ３ コミュニティバスのＨ２９年９月末利用実績報告
- ４ ゆめさとこども園のＨ２９年９月末利用状況報告
- ５ 新設停留所の利用状況（Ｈ２９年４～９月期）報告
- ６ アンケート調査結果報告
- ７ コミュニティバス利用の観光ルート（案）
- ８ 議事  
議案第１号 コミュニティバス２ルート運行（案）
- ９ その他

## 【配付資料】

- 資料－１：平成２９年度 第２回平群町地域公共交通会議 議事要旨  
資料－２：平成２９年９月末コミュニティバス利用実績  
資料－３：平成２９年９月末ゆめさとこども園の利用状況  
資料－４：新設停留所の利用状況（Ｈ２９年４～９月期）  
資料－５：アンケート調査結果報告  
資料－６：コミュニティバス利用の観光ルート（案）  
資料－７：コミュニティバス２ルート運行（案）

## 【議事内容】

### ○前回の議事概要の確認

(事務局より現況報告)

### ○平成29年9月末コミュニティバス・ゆめさとこども園・新設停留所利用実績

PTA : ゆめさとこども園、利用状況はそのとおりですが、①開園時の経緯をどう考えるのか、②現在コミュニティバスで通園されている方に対する説明責任はどうするのか。

事務局 : 開園時の経緯は認識していますが、利用者が1組程度と少ない状況にあり、園との意見交換、保護者アンケートも実施しており、意見を反映して今の運行ダイヤを提案しましたが1組程度の利用となっています。

保護者からはコミュニティバスでの通園は厳しいとのご意見もあります。

現在の利用者には事情を説明していきたいと思います。

PTA : 親切な対応であることは理解したが、コミュニティバスの利用要望があるのでのコミュニティバスを維持してほしい。コミュニティバス自体が廃止にならないように願います。

長寿会 : 需要が今後増加する要因があるのか。限界があると思うが。

事務局 : アンケートを実施してダイヤに反映させたり、イベント等を実施して利用促進は図っていますが、状況は厳しいです。

長寿会 : イベントによる利用促進効果が見えない。見込み数値が必要でないか。

議長 : イベントは一時的効果であり、日常的利用を促進する案を提示してもらいたい。新設停留所は予想より少ない認識でよいか。

事務局 : ビッグエクストラ平群店は利用がありますが、かんぼの宿大和平群とゆめさとこども園は利用者が少ない状況です。

### ○アンケート調査結果報告

長寿会 : デマンド交通を要望する方の意見は何か。

事務局 : かしのき荘ではデマンド交通希望者は特定の方、バス停が遠い、時間がかかる、体力的問題のある方でした。

長寿会 : 高齢者からデマンド交通の必要性を把握すべきでないか。

デマンド要望者のニーズが果たして必要性のあるものかどうか、また、その数があるのか。わかるようなデータ収集をお願いしたい。

運輸支局 : P51、デマンド要望者はタクシーイメージか乗り合いイメージか、タクシーイメージであればタクシーの利便性向上を図ればよい。

長寿会 : 高齢者相互での支援活動をしたい。サポートを行政にお願いしたい。

運輸支局 : 交通事故、対価受取の問題は今年度の本省での検討内容です。

具体的事業の内容ではないが現在検討している状況です。

長寿会 : 有償とは、ガソリン代等の経費も含むのか。

運輸支局 : 有償になります。会員の有無、料金の多少に関わらず、有償と判断します。

## ○コミュニティバスを利用の観光ルートチラシ（案）

議 長 : 観光ルートとは別に各種イベント開催時の案内状などには「バス・鉄道を利用してください」の一文を追加してください。

事務局 : 検討します。

## ○議案第1号：コミュニティバス2ルート運行（案）

議 長 : 平成30年度からの運行予定で、西山間ルートは現行、南北循環ルートは減便、ゆめさとこども園廃止でよいか。

事務局 : ゆめさとこども園の廃止については、園及び保護者との意見交換会等を実施し、説明させていただいたうえで了承を得ています。

議 長 : ゆめさとこども園利用者は8:31プリズム着を利用することになるのか。

自治会 : 減便のデメリットは何か。要望に答えられていない事項はなにか。

プリズムからゆめさとこども園に寄って駅西側では無理か。ゆめさとこども園はできることなら残してほしい。

事務局 : プリズムからゆめさとこども園へは6分程かかるので、かしのき荘・中央公民館到着が遅れます。ゆめさとこども園自体にバスが乗り入れることも懸案事項であったので総合的に判断しました。

西山間ルートは現行ベースで、南北循環ルートは南ルートを減便、その代わりの高齢者利用、小中学生の利用を中心に設定しました。

奈良交通とも協議した結果であり、事務局としてはこれで実施したいと考えます。

8:15平群駅発便では、東山駅での近大病院アクセスと、公民館9:20着を基本として、ゆめさとこども園を廃止しました。

自治会 : 経費削減ありきではないか。ニーズが先でないか。

P T A : 町の第2次削減計画では3,200万が2,200万になっている。公共交通のそもそも論が大事ではないか、その点はどう考えるのか。

事務局 : 利用者ニーズを反映して判断しています。利便性を考慮して改善案を検討した結果、いまの3ルートよりも乗りやすくなったと考えます。

利用者にも事前ヒアリングはしており、経費ありきでは無いことをご理解願います。

議 長 : ゆめさとこども園の廃止が最大の課題である。

園の近くの国道沿い等にバス停留所をもっていくことを次の改定で検討する。

事務局 : 今後との検討課題としては可能です。

議 長 : 平成30年度から2ルート案で承認で宜しいでしょうか。

<<拍手多数で承認>>

## ○その他

- ・ 次回は2月中旬開催予定。
- ・ 2ルート案の時刻は、案から数分の修正はあります。

以 上

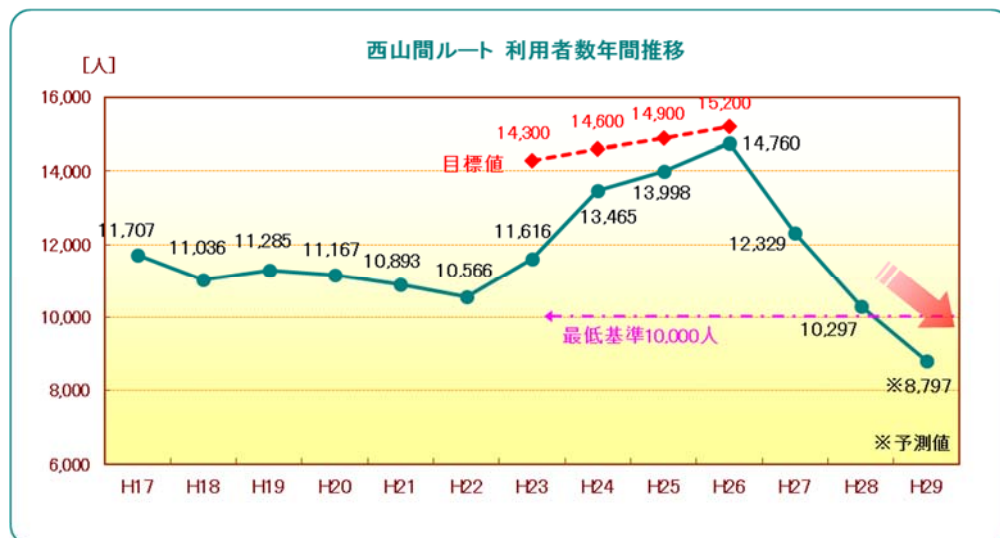
## コミュニティバス利用状況（平成 29 年 12 月末現在）

## 1. 利用状況の年度推移

平成 17 年度から平成 29 年度までの町コミュニティバスの利用状況の推移を以下に示す。

単位：人

利用者数(人)	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
西山間ルート	11,707	11,036	11,285	11,167	10,893	10,566	11,616	13,465	13,998	14,760	12,329	10,297	※8,797
中央循環ルート計	9,865	9,849	12,147	14,235	14,749	13,981	13,914	15,581	14,864	14,675	18,241	17,847	※16,099
合計	21,572	20,885	23,432	25,402	25,642	24,547	25,530	29,046	28,862	29,435	30,570	28,144	※24,896
西山間ルート目標値	最低基準 平日/10,000						14,300	14,600	14,900	15,200			(※予測値)
中央循環ルート目標値	最低基準 平日/18,200						29,300	31,300	33,400	35,400			



## 【西山間ルート】

- ・平成 26 年度には 14,760 人(目標値の約 97%)と過去最高の利用者数となったが、平成 27 年 4 月からの減便による影響から減少に転じ、平成 28 年度では 10,297 人まで減少した。また、平成 29 年度では、最低目標基準の 10,000 人に満たないと予測される。

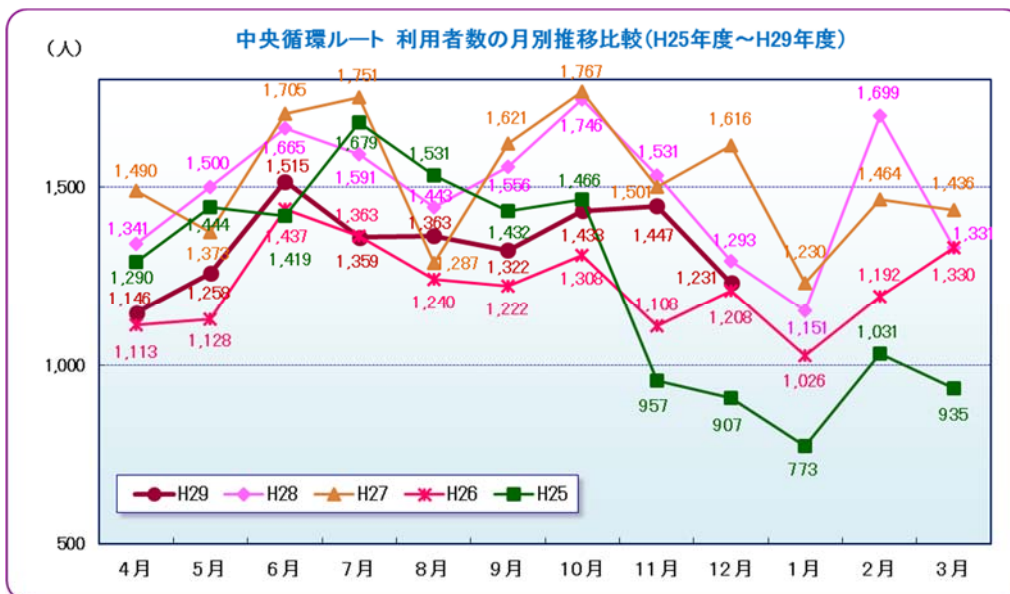
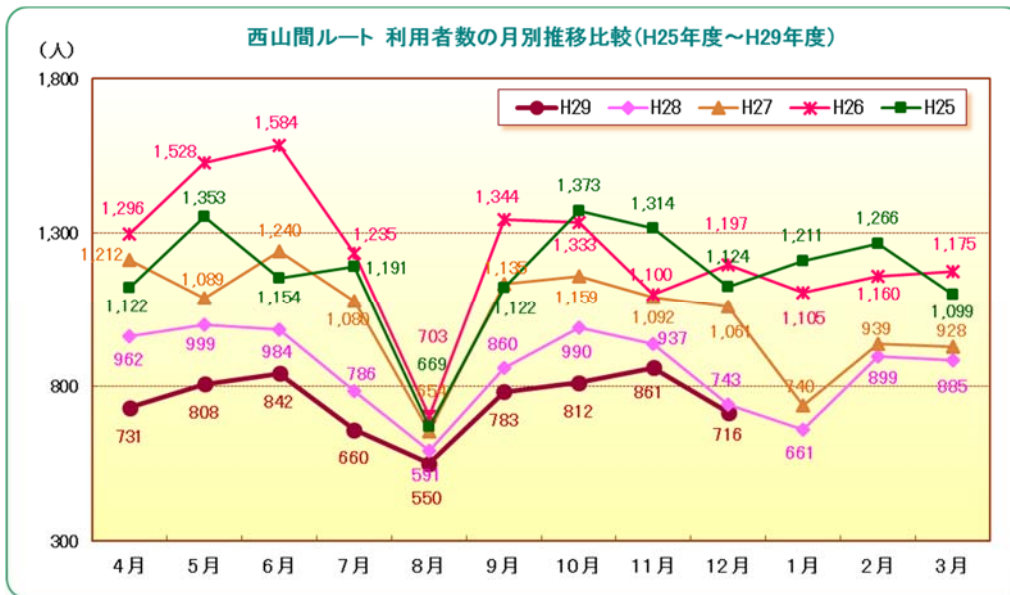
## 【中央循環ルート】

- ・平成 27 年 4 月からのダイヤ改正により、最低基準の 18,200 人を超えたが、平成 28 年度には 17,847 人と減少し、平成 29 年度も減少傾向になると予測される。

## 2. 月別利用状況の年度推移

月別利用状況について平成 25 年度～平成 29 年 12 月までの年度別の利用状況比較を以下に示す。

利用者数(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均値
西山間ルート(25年度)	1,122	1,353	1,154	1,191	669	1,122	1,373	1,314	1,124	1,211	1,266	1,099	1,167
西山間ルート(26年度)	1,296	1,528	1,584	1,235	703	1,344	1,333	1,100	1,197	1,105	1,160	1,175	1,230
西山間ルート(27年度)	1,212	1,089	1,240	1,080	654	1,135	1,159	1,092	1,061	740	939	928	1,027
西山間ルート(28年度)	962	999	984	786	591	860	990	937	743	661	899	885	858
西山間ルート(29年度)	731	808	842	660	550	783	812	861	716	0	0	0	751
中央循環ルート(25年度)	1,290	1,444	1,419	1,679	1,531	1,432	1,466	957	907	773	1,031	935	1,239
中央循環ルート(26年度)	1,113	1,128	1,437	1,363	1,240	1,222	1,308	1,108	1,208	1,026	1,192	1,330	1,223
中央循環ルート(27年度)	1,490	1,373	1,705	1,751	1,287	1,621	1,767	1,501	1,616	1,230	1,464	1,436	1,520
中央循環ルート(28年度)	1,341	1,500	1,665	1,591	1,443	1,556	1,746	1,531	1,293	1,151	1,699	1,331	1,487
中央循環ルート(29年度)	1,146	1,258	1,515	1,359	1,363	1,322	1,433	1,447	1,231	0	0	0	1,342



【西山間ルート】 ・夏期、冬期に減少する月変動である。

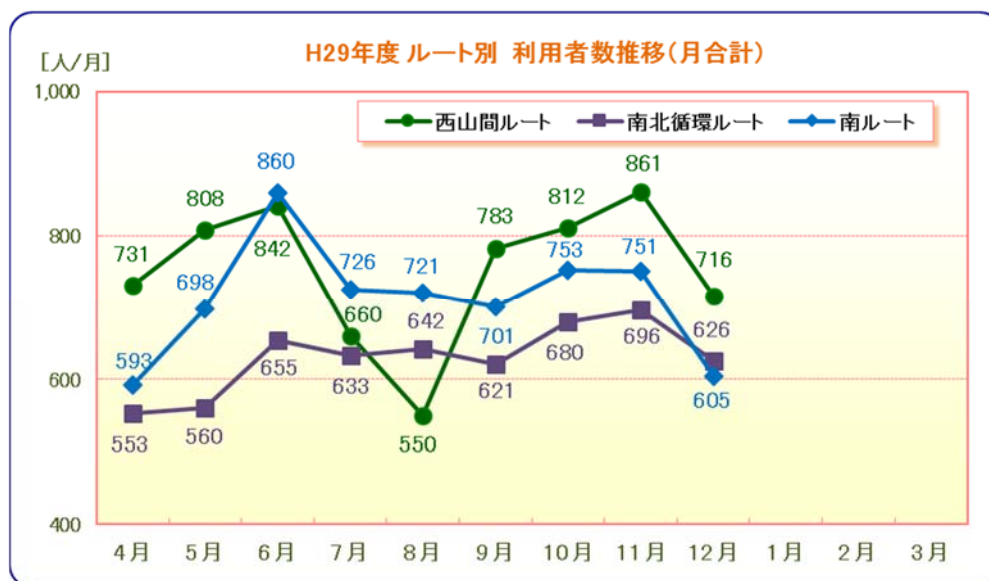
【中央循環ルート】 ・平成 29 年 12 月までの月別推移は、平成 25 年度～平成 28 年度の傾向とほぼ変わらない。

### 3. 平成 29 年度の利用者数の推移

平成 29 年 12 月までの月別利用者数の推移を以下に示す。

#### ■ 月別利用客数の推移

利用者数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均 (H29.4- H29.12)
運行日数(平日)		20	20	22	20	22	20	21	20	20	0	0	0	
月計	西山間ルート	731	808	842	660	550	783	812	861	716				751
	中央循環ルート	1,146	1,258	1,515	1,359	1,363	1,322	1,433	1,447	1,231				1,342
	南北循環ルート	553	560	655	633	642	621	680	696	626				630
	南ルート	593	698	860	726	721	701	753	751	605				712
	合計	1,877	2,066	2,357	2,019	1,913	2,105	2,245	2,308	1,947				2,093
日平均	西山間ルート	36.6	40.4	38.3	33.0	25.0	39.2	38.7	43.1	35.8				36.7
	中央循環ルート	57.3	62.9	68.9	68.0	62.0	66.1	68.2	72.4	61.6				65.3
	南北循環ルート	27.7	28.0	29.8	31.7	29.2	31.1	32.4	34.8	31.3				30.7
	南ルート	29.7	34.9	39.1	36.3	32.8	35.1	35.9	37.6	30.3				34.6

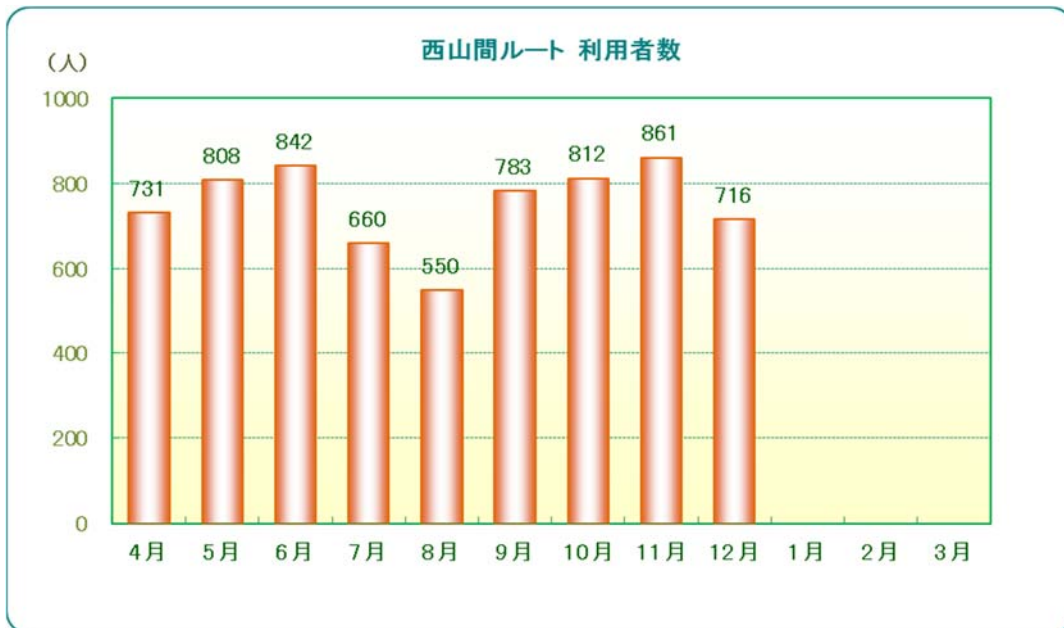


- ・月別平均利用者数 ⇒ 西山間ルート:751 人、南北循環ルート:630 人、南ルート:712 人
- ・日平均利用者数 ⇒ 西山間ルート:36.7 人、南北循環ルート:30.7 人、南ルート:34.6 人

#### 4. 平成 29 年度の西山間ルートの利用状況

##### 4. 1 月別の利用者数の推移

平成 29 年 12 月までの西山間ルートの日別利用者数を以下に示す。



##### 4. 2 1日/1便あたりの利用者数の推移

平成 29 年 12 月までの 1 日当たり及び 1 便当たりの利用者数を以下に示す。

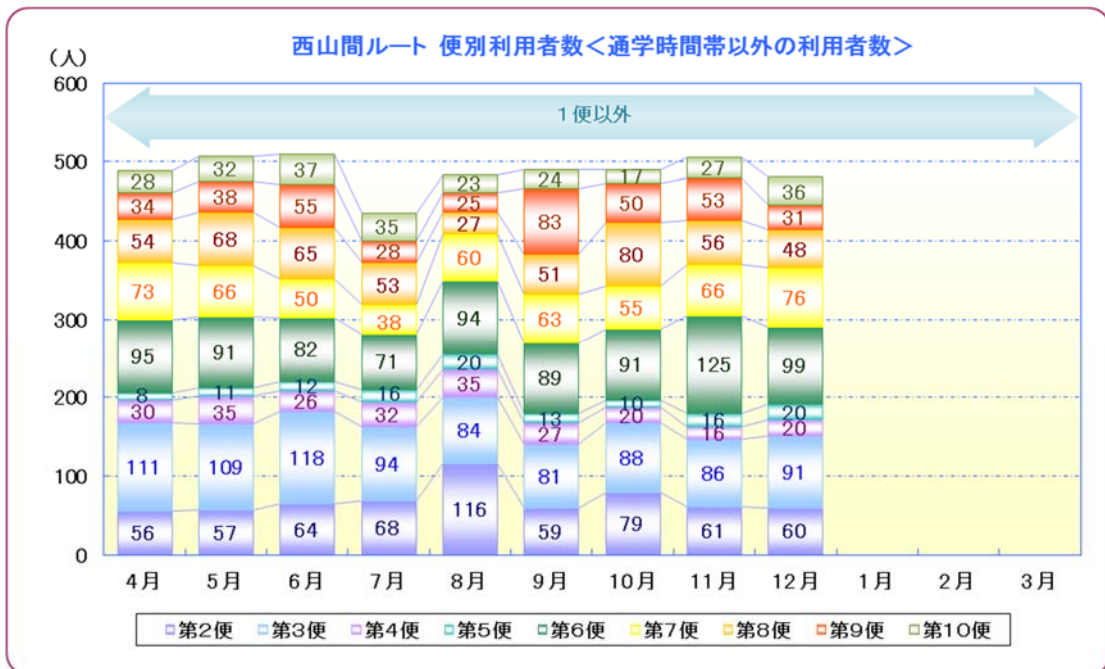
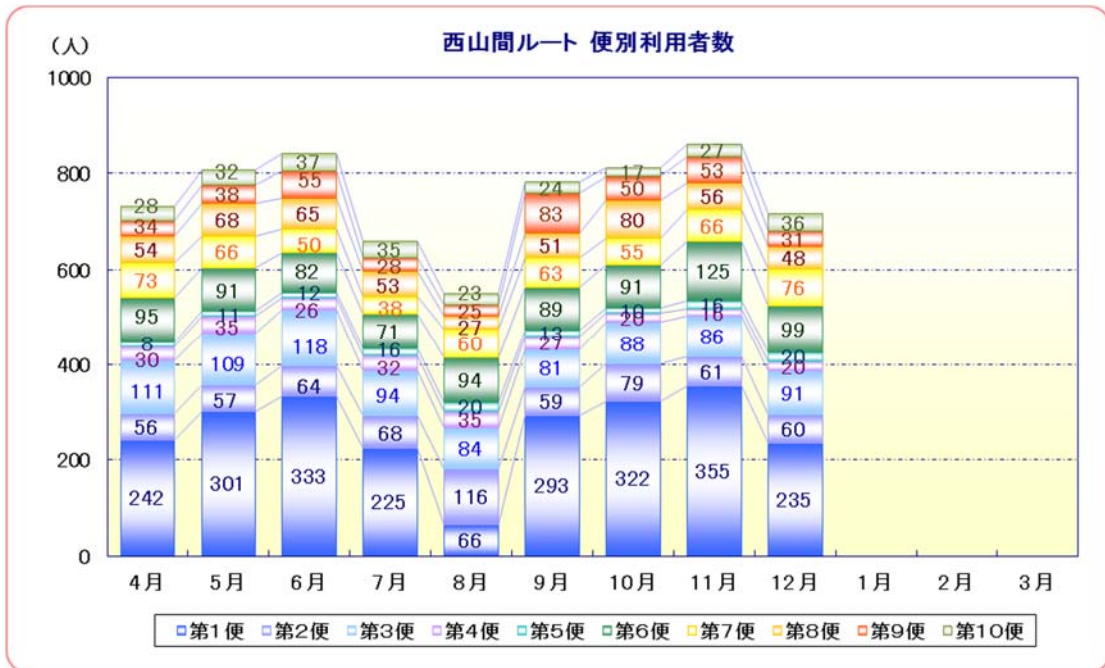


- ・平均利用者数は、月 751 人となっている。
- ・1日あたりの利用者数は平均 36.7 人、1便あたりの利用者数は、平均 3.7 人となっている。



### 4. 3 便別の利用状況

平成 29 年 12 月までの便別の利用者数を以下に示す。



#### 【全体】

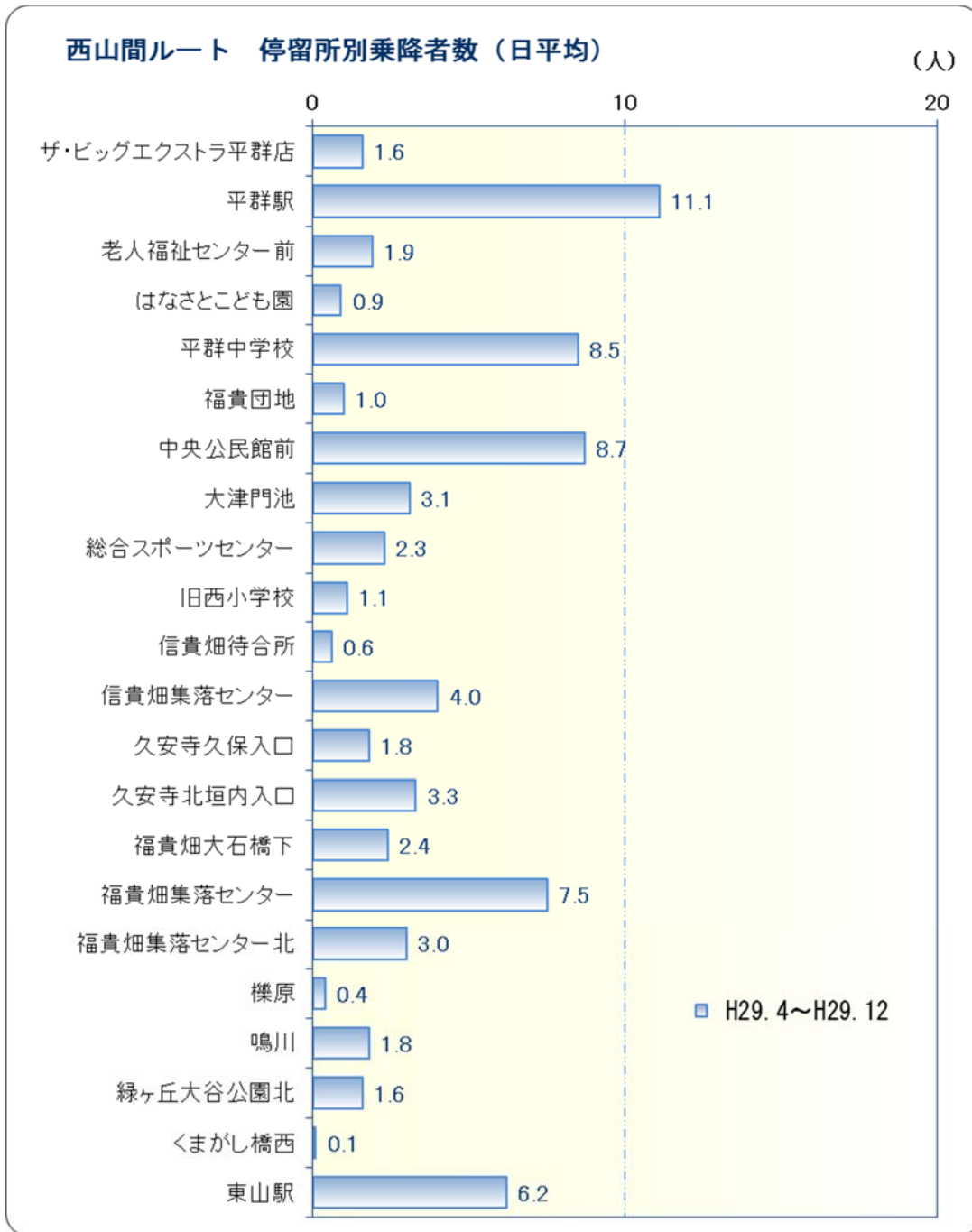
- ・月平均の利用者数は第 1 便(264 人)が最も多く、次いで第 3 便(96 人)、第 6 便(93 人)の順であり、最も少ないのは第 5 便(14 人)となっている。

#### 【通学時間帯以外】

- ・月平均の利用者数は第 3 便(96 人)、第 6 便(93 人)、第 2 便(69 人)の順であり、最も少ないのは第 5 便(14 人)となっている。

#### 4. 4 停留所別の利用状況

平成 29 年 12 月までの 1 日当たりの停留所別利用者数を以下に示す。

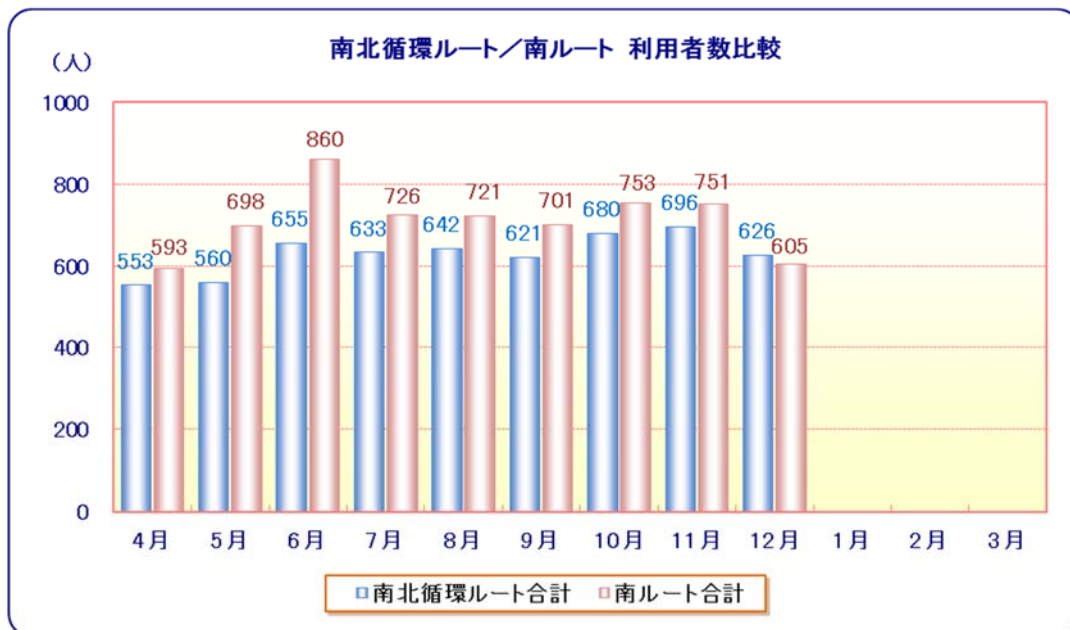


- ・西山間地域からの目的地としては、「平群駅」(11.1 人)が最も多く、次いで「中央公民館前」(8.7 人)、「平群中学校」(8.5 人)の順である。
- ・西山間地域では「福貴畑集落センター」(7.5 人)が最も多く、次いで「信貴畑集落センター」(4.0 人)、「久安寺北垣内入口」(3.3 人)の順となっている。
- ・平成 29 年 4 月に新設された「ザ・ビッグエクストラ平群店」は1日平均 1.6 人となっている。

## 5. 平成 29 年度の中央循環（南北循環／南）ルートの利用状況

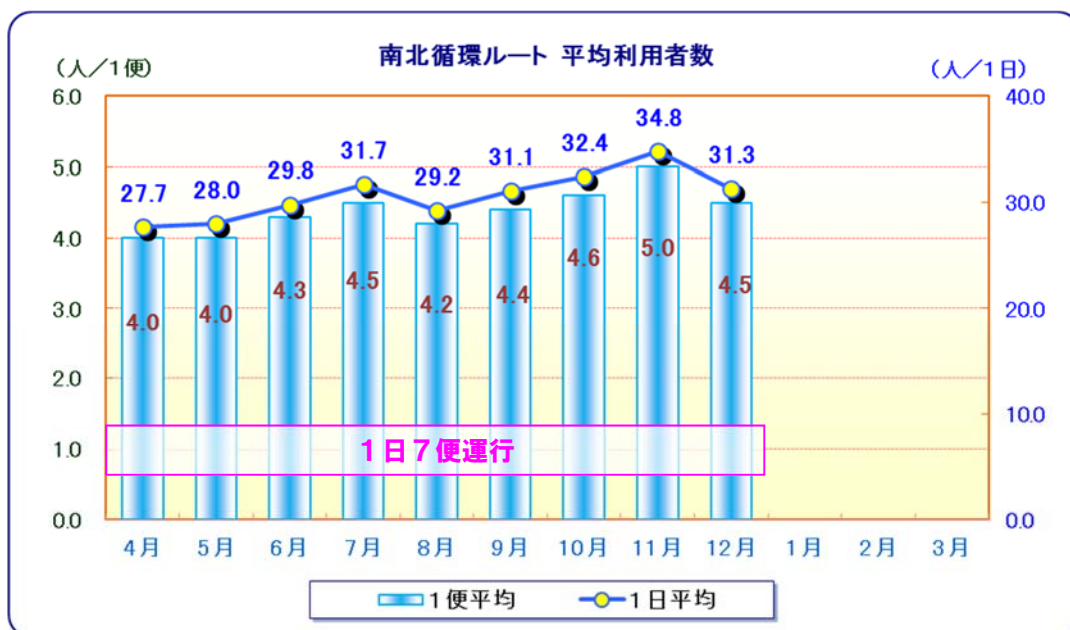
### 5. 1 月別の利用者数の推移

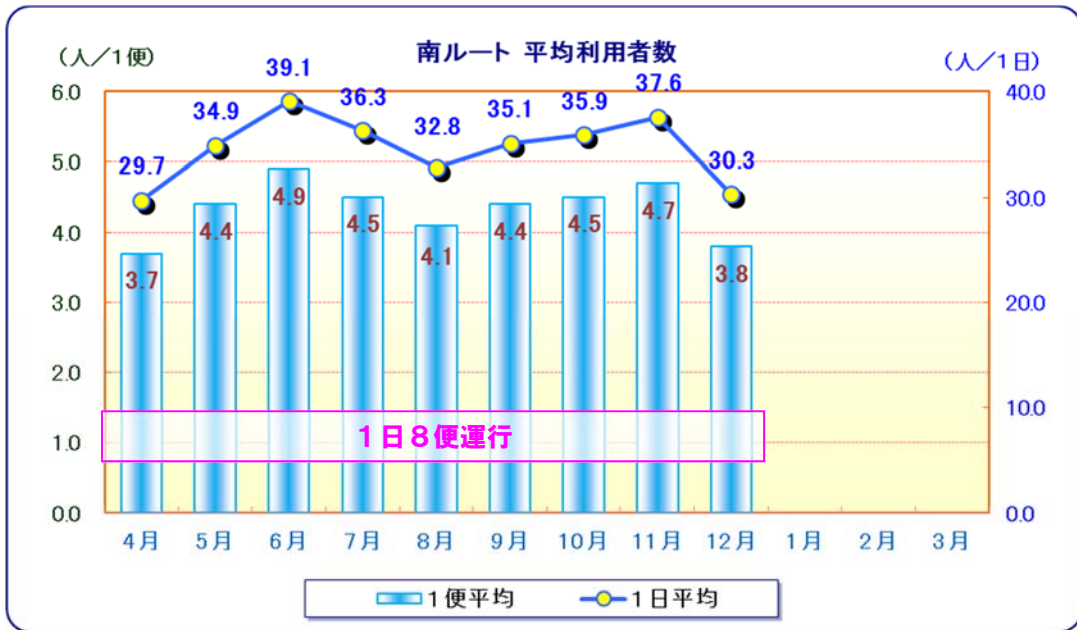
平成 29 年 12 月までの中央循環（南北循環／南）ルートの月別利用者数を以下に示す。



### 5. 2 1日／1便あたりの利用者数の推移

平成 29 年 12 月までの中央循環（南北循環／南）ルートの 1 日当たり及び 1 便当たりの利用者数を以下に示す。





■ 月間平均利用者数

- ・南北循環ルート: 月 630 人
- ・南ルート: 月 712 人

■ 1日当たり平均利用者数

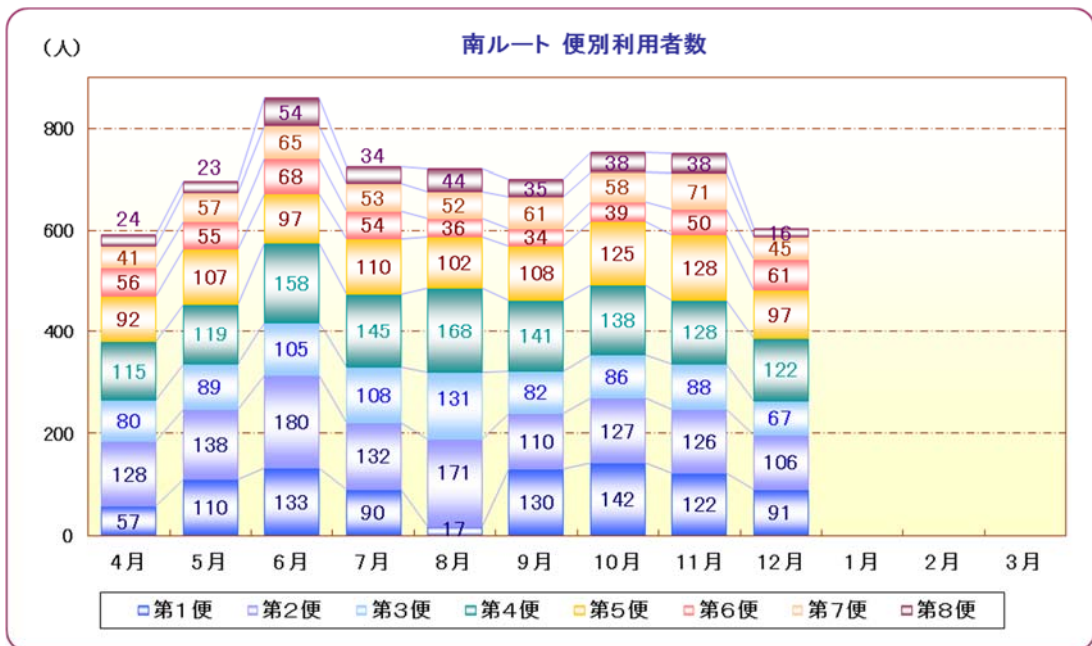
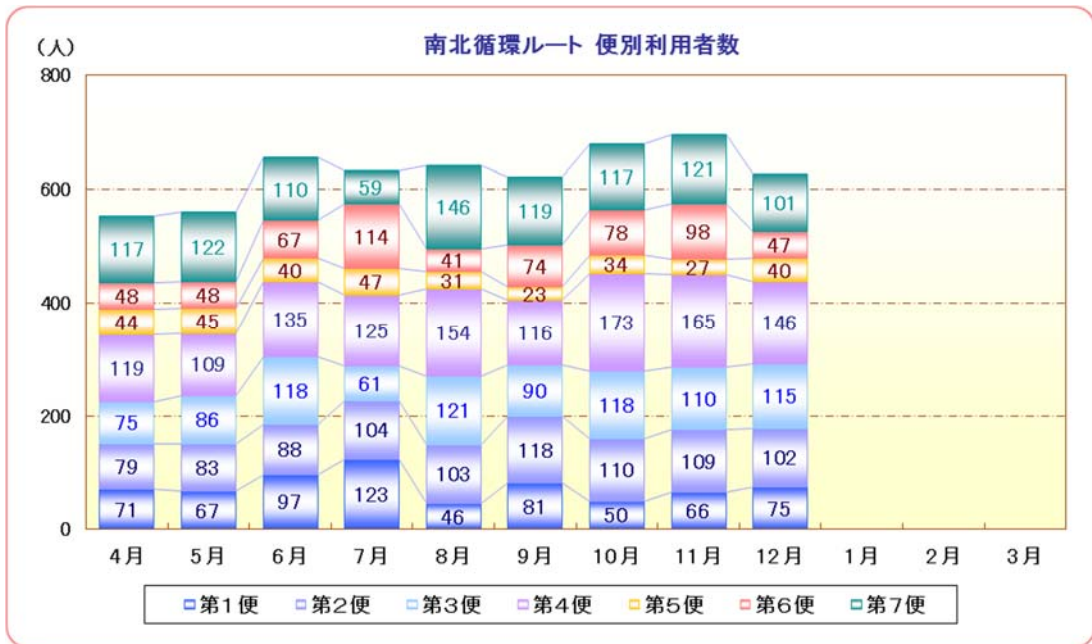
- ・南北循環ルート : 30.7 人/日
- ・南ルート : 34.6 人/日

■ 1便当たり平均利用者数

- ・南北循環ルート (1日7便運行) : 4.4 人/便
- ・南ルート (1日8便運行) : 4.3 人/便

### 5.3 便別の利用状況

平成 29 年 12 月までの便別の利用者数を以下に示す。



#### 【南北循環ルート】

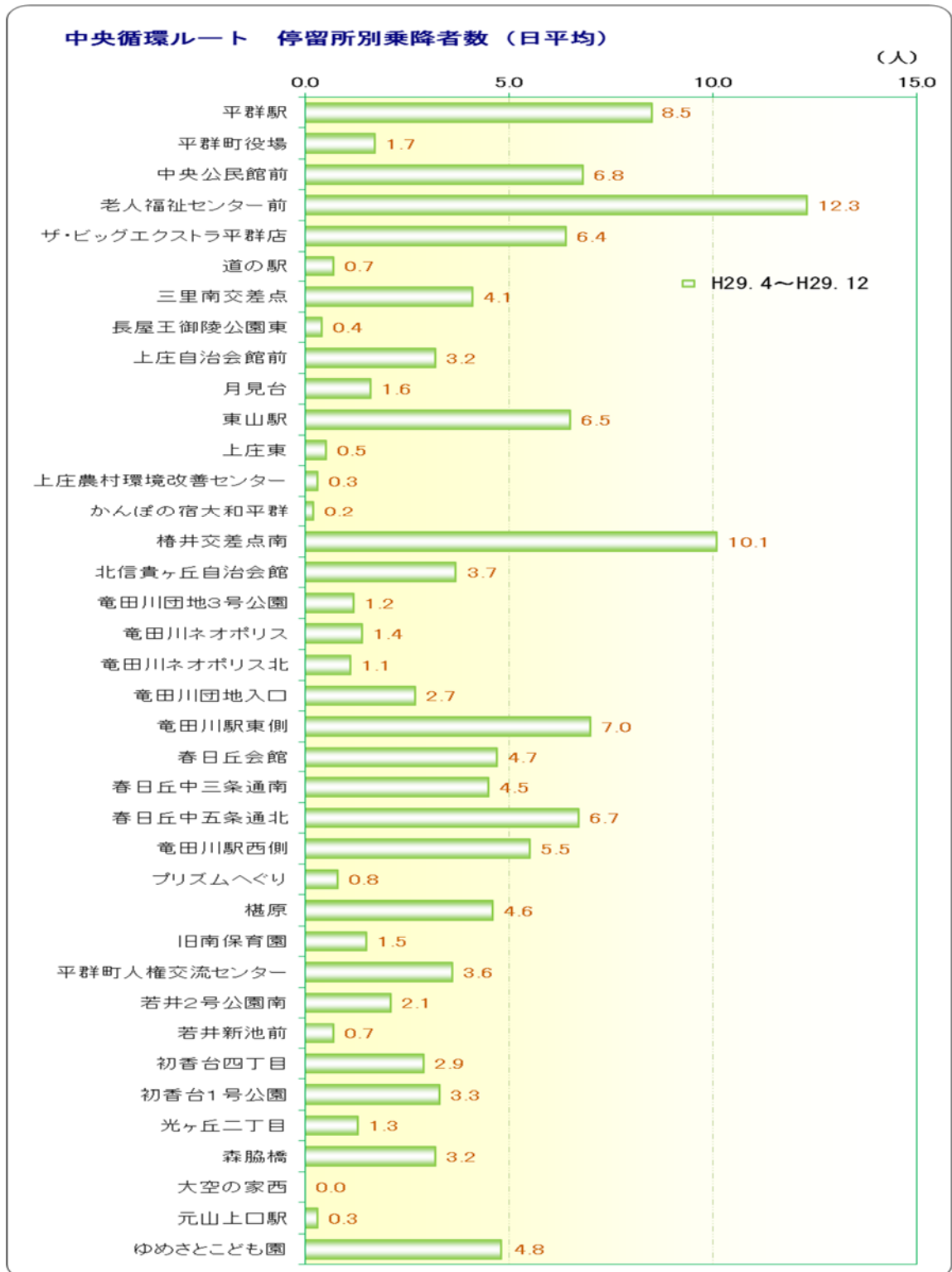
- ・月平均利用者は第 4 便(138 人)が最も多く、次いで第 7 便(112 人)、第 2 便(100 人)の順となっている。最も少ないのは、第 5 便(37 人)となっている。

#### 【南ルート】

- ・月平均利用者は第 4 便(137 人)、第 2 便(135 人)、第 5 便(107 人)の順であり、最も少ないのは第 8 便(34 人)となっている。

## 5. 4 停留所別の利用状況

平成 29 年 12 月までの 1 日当たりの停留所別利用者数を以下に示す。

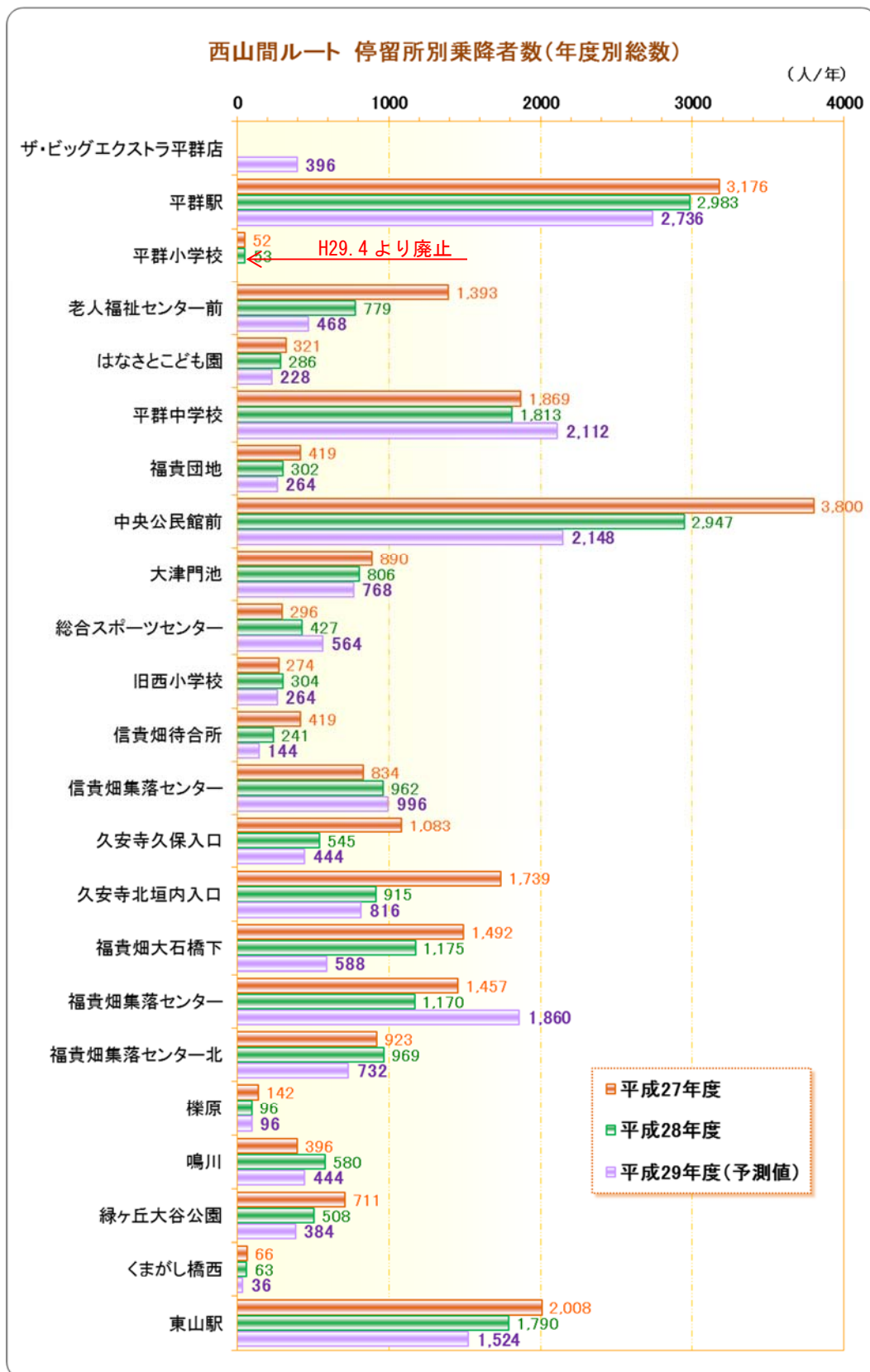


- ・中央循環地域からの目的地としては、「老人福祉センター前」(12.3 人)が最も多く、次いで「平群駅」(8.5 人)、「竜田川駅東側」(7.0 人)、「中央公民館前」(6.8 人)の順となっている。
- ・中央循環地域では、「榑井交差点南」(10.1 人)、「春日丘中五条通北」(6.7 人)の順であり、ゆめさとこども園では(4.8 人)の利用となっている。
- ・国道 168 号沿いの「三里南交差点」では(4.1 人)の利用となっている。

## 6. 停留所別 年度別の利用比較

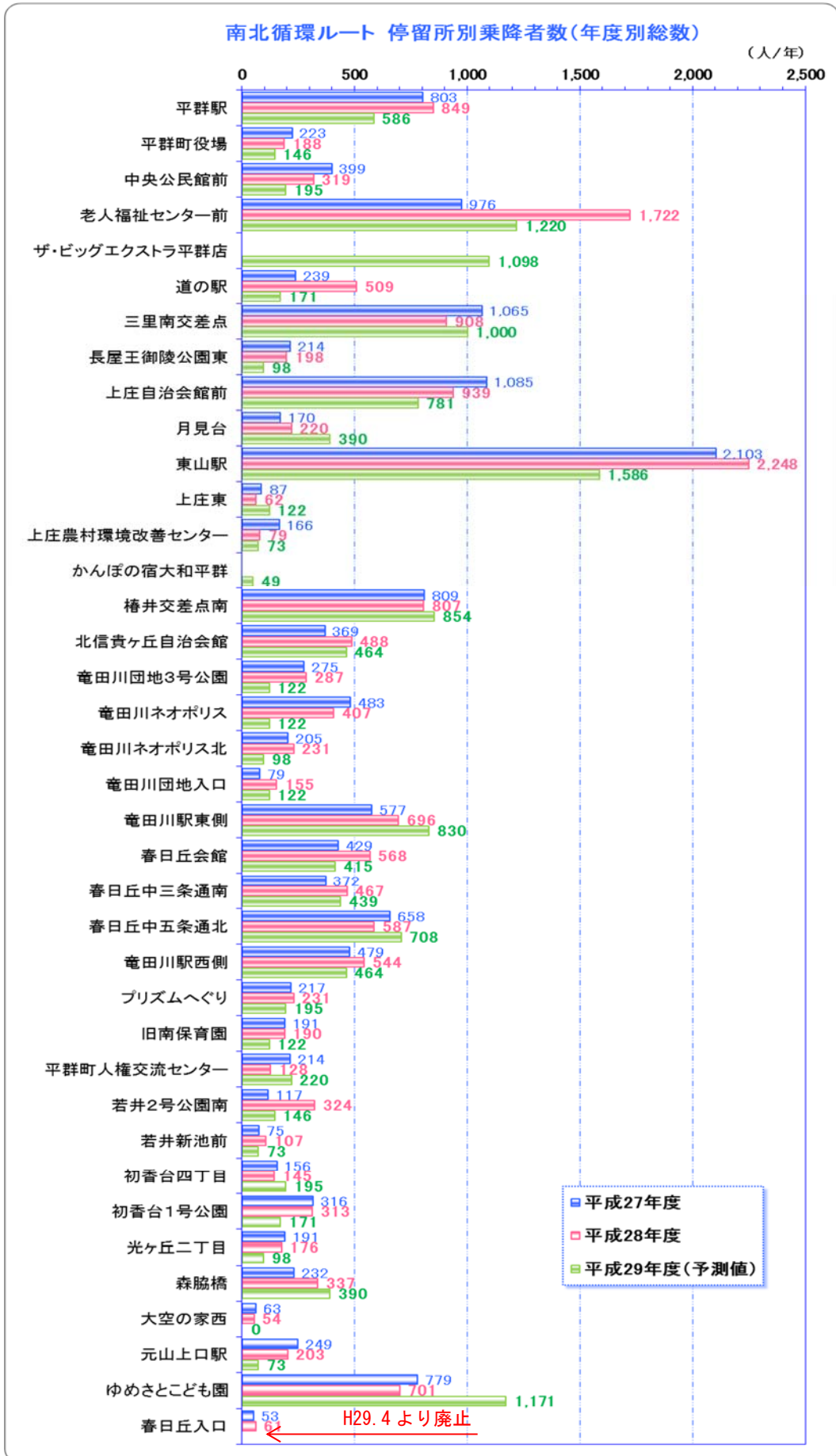
### 6.1 西山間ルート

平成27年度～平成29年度の各停留所の年度別の利用状況を以下に示す。



## 6. 2 南北循環ルート

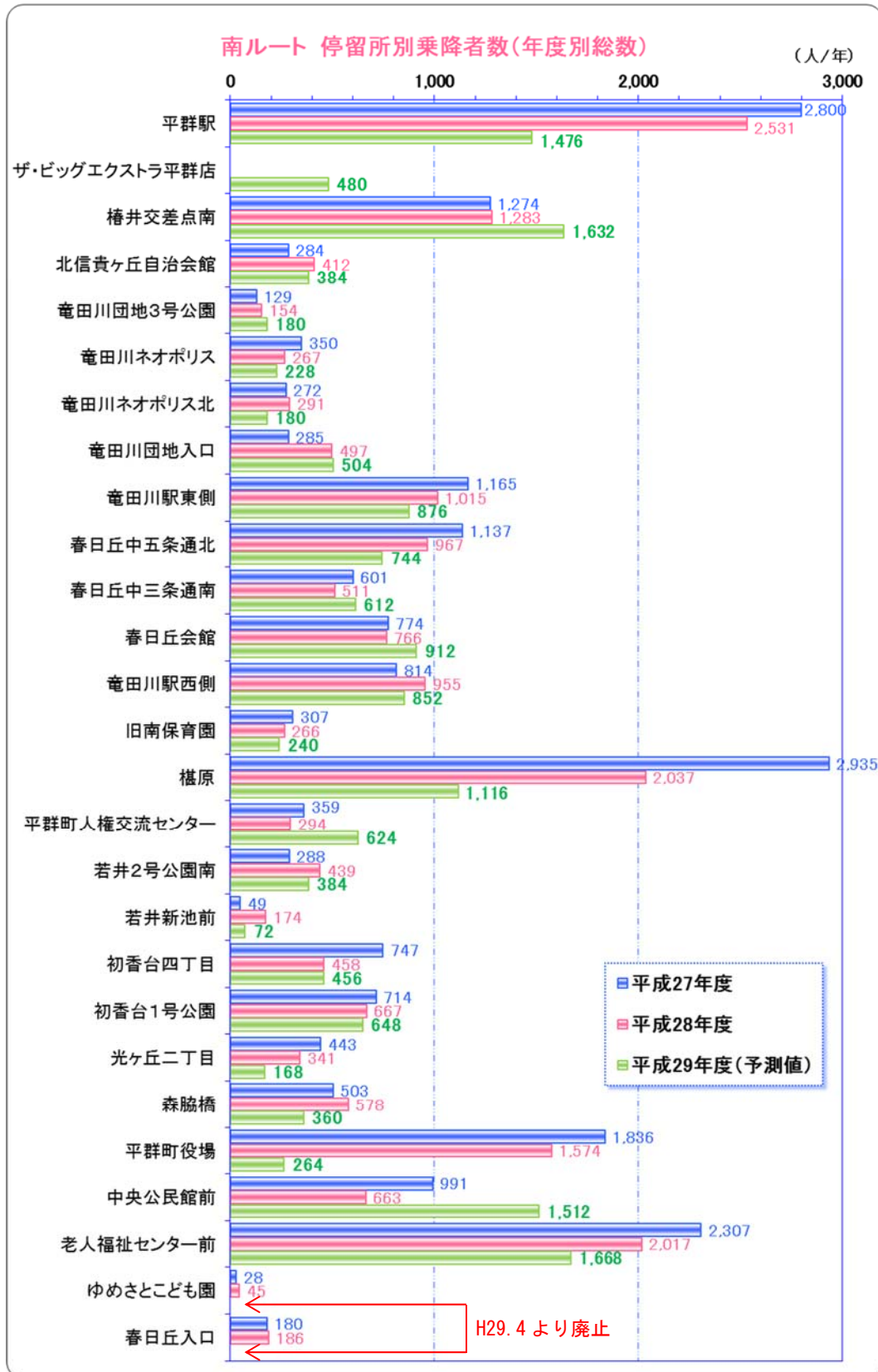
平成 27 年度～平成 29 年度の各停留所の年度別の利用状況を以下に示す。





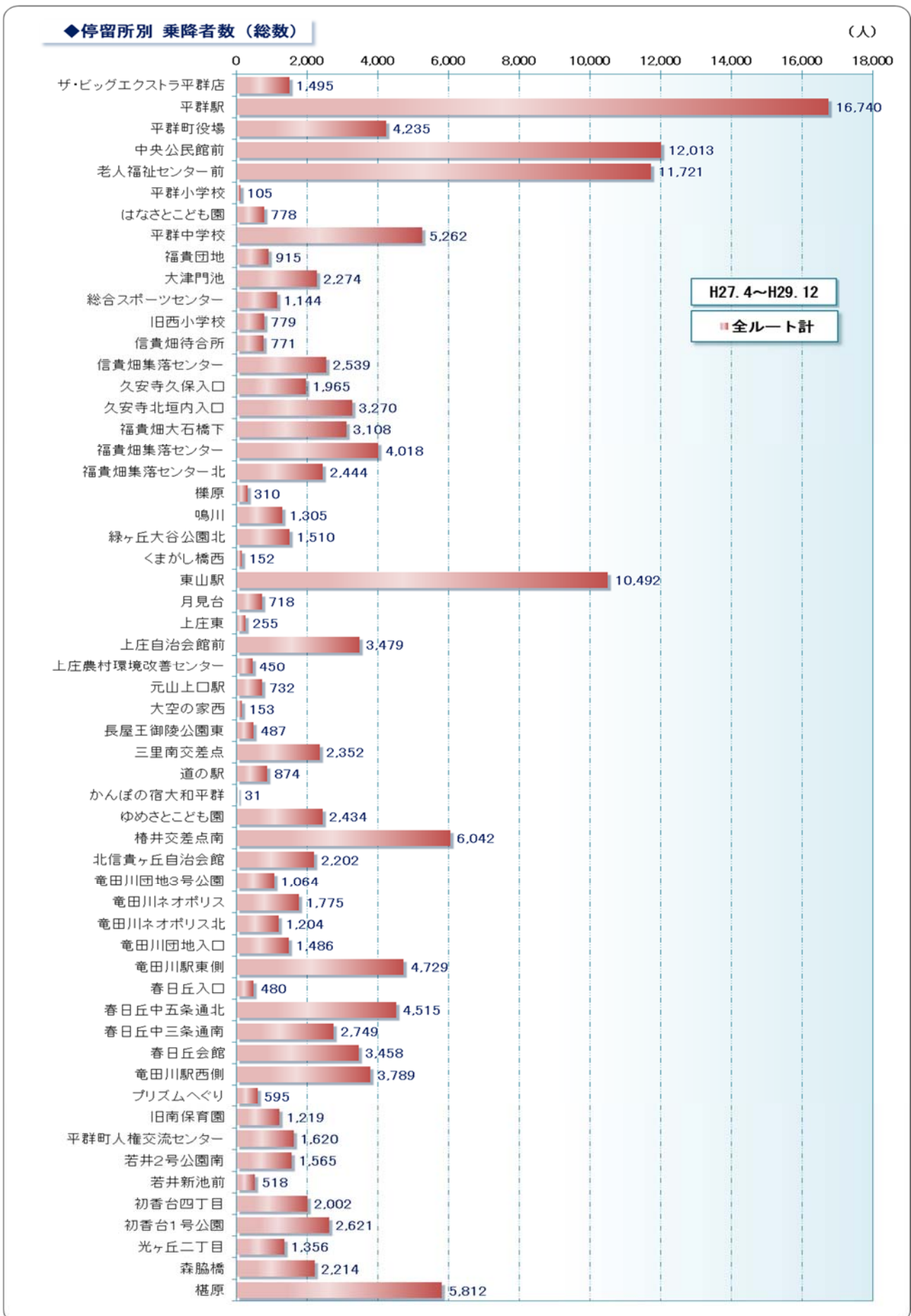
### 6. 3 南ルート

平成27年度～平成29年度の各停留所の年度別の利用状況を以下に示す。



## 7. 停留所別の利用比較

平成 27 年 4 月～平成 29 年 12 月までの各停留所別の利用状況を以下に示す。



## ゆめさとこども園の利用状況（平成29年12月末現在）

## まとめ

平成27年4月から利用されている「ゆめさとこども園」における、平成29年12月までの乗降者数の推移は下表に示すとおり、月平均97.9人、日平均4.8人、便平均1.2人の利用となっている。

利用便としては、平成29年4月のダイヤ改正より、中央循環（南北循環）ルートのみでの運行となり、登園時では園着8:30（第1便）、園発8:45（第1便）、降園時では、園着14:30（第6便）、園発14:45（第6便）の運行となっている。

表 ゆめさとこども園 月別乗降者数

H27年度														H27年度			
乗降者数(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均値			
運行日数	21	18	22	22	21	19	21	19	21	19	20	22					
西山間ルート	22	25	19	11	3	14	25	25	14	15	21	14	208	17.3			
中央循環ルート	111	72	100	78	7	34	51	31	72	17	15	11	599	49.9			
南北循環ルート	100	70	97	72	7	33	49	31	70	17	15	10	571	47.6			
南ルート	11	2	3	6	0	1	2	0	2	0	0	1	28	2.3			
月合計	133	97	119	89	10	48	76	56	86	32	36	25	807	67.3			
1日当たり乗降者数	6.3	5.4	5.4	4.0	0.5	2.5	3.6	2.9	4.1	1.7	1.8	1.1		3.3			
1便当たり乗降者数	1.1	0.9	0.9	0.7	0.1	0.4	0.6	0.5	0.7	0.3	0.3	0.2		0.6			
H28年度														H28年度			
乗降者数(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均値			
運行日数	20	19	22	20	22	20	20	20	21	18	20	22					
西山間ルート	19	20	31	14	5	17	1	3	4	4	13	13	144	12.0			
中央循環ルート	56	77	97	63	38	88	25	28	18	22	58	34	604	50.3			
南北循環ルート	47	71	88	56	38	81	25	27	14	22	54	34	557	46.4			
南ルート	9	6	9	7	0	7	0	1	4	0	4	0	47	3.9			
月合計	75	97	128	77	43	105	26	31	22	26	71	47	748	62.3			
1日当たり乗降者数	3.8	5.1	5.8	3.9	2.0	5.3	1.3	1.6	1.0	1.4	3.6	2.1		3.1			
1便当たり乗降者数	0.6	0.9	1.0	0.6	0.3	0.9	0.2	0.3	0.2	0.2	0.6	0.4		0.5			
H29年度														H29年度		H27-H29年度	
乗降者数(人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	月平均値	合計	月平均値				
運行日数	20	20	22	20	22	20	21	20	21			675	月平均値				
西山間ルート												352	14.7				
中央循環ルート	83	85	136	92	57	138	99	97	94	881	97.9	2,084	63.2				
南北循環ルート	83	85	136	92	57	138	99	97	94	881	97.9	2,009					
南ルート												75					
月合計	83	85	136	92	57	138	99	97	94	881	97.9	2,436	73.8				
1日当たり乗降者数	4.2	4.3	6.2	4.6	2.6	6.9	4.7	4.9	4.5		4.8		3.6				
1便当たり乗降者数	1.0	1.1	1.5	1.2	0.6	1.7	1.2	1.2	1.1		1.2		0.7				

表 ゆめさとこども園 4~12月期 平均乗降者数比較

	4~12月平均乗降者数(人)		
	H27年度	H28年度	H29年度
月平均	79.3	67.1	97.9
日平均	3.9	3.3	4.8
便平均	0.7	0.6	1.2

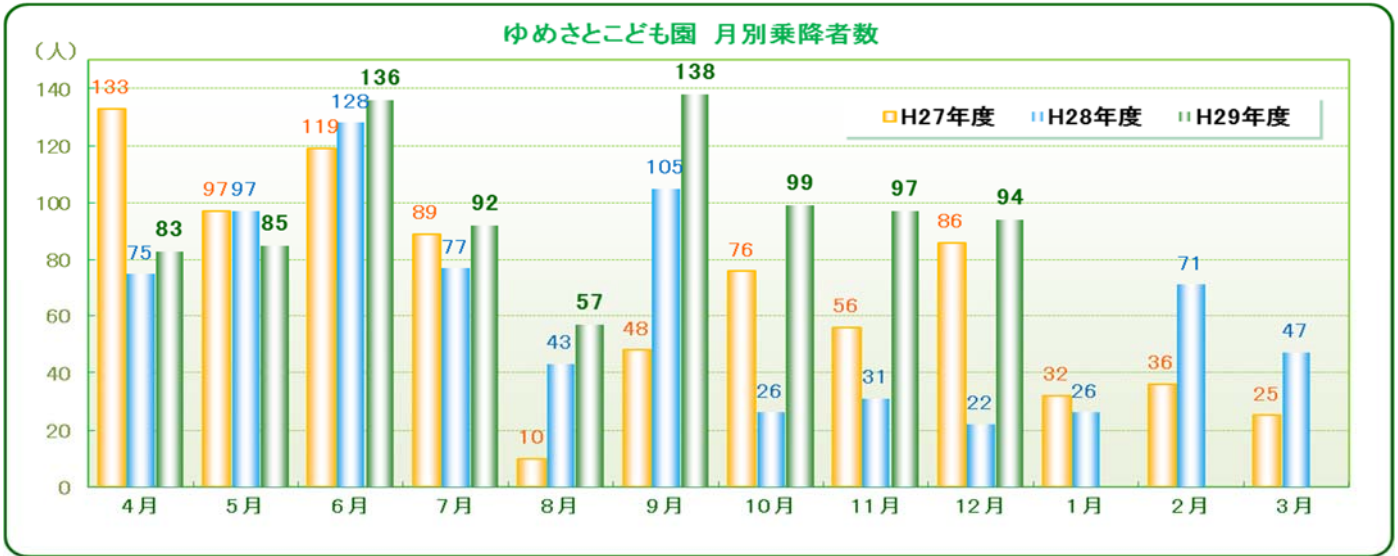
表 ゆめさとこども園 便別乗降者数

		H27年度															
乗降者数(人)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	H27計	便別		
運行日数		21	18	22	22	21	19	21	19	21	19	20	22	245	月平均値		
第1便(南北循環1便)	8:41着	54	40	45	32	5	9	2	14	28	10	6	6	251	20.9		
第2便(南北循環2便)	8:53着	26	25	38	38	2	14	33	4	32	2	5	1	220	18.3		
第3便(南3便)	9:19着	2	0	1	6	0	1	1	0	2	0	0	0	13	1.1		
第4便(西山間6便)	14:48着	22	25	19	11	3	14	25	25	14	15	21	14	208	17.3		
第5便(南北循環5便)	14:57着	20	5	14	2	0	10	14	13	10	5	4	3	100	8.3		
第6便(南8便)	15:19着	9	2	2	0	0	0	1	0	0	0	0	1	15	1.3		
月合計		133	97	119	89	10	48	76	56	86	32	36	25	807	67.3		
		H28年度												H27~H28年度			
乗降者数(人)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	H28計	便別	累計	便別
運行日数		20	19	22	20	22	20	20	20	21	18	20	22	244	月平均値	489	月平均値
第1便(南北循環1便)	8:41着	24	30	40	27	19	43	17	23	11	18	32	30	314	26.2	565	23.5
第2便(南北循環2便)	8:53着	5	15	14	8	9	15	4	0	3	4	20	4	101	8.4	321	13.4
第3便(南3便)	9:19着	8	6	7	6	0	5	0	0	2	0	2	0	36	3.0	49	2.0
第4便(西山間6便)	14:48着	19	20	31	14	5	17	1	3	4	4	13	13	144	12.0	352	14.7
第5便(南北循環5便)	14:57着	18	26	34	21	10	23	4	4	0	0	2	0	142	11.8	242	10.1
第6便(南8便)	15:19着	1	0	2	1	0	2	0	1	2	0	2	0	11	0.9	26	1.1
月合計		75	97	128	77	43	105	26	31	22	26	71	47	748	62.3	1,555	64.8
		H29年度										H27~H29年度					
乗降者数(人)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H29計	便別	累計	便別			
運行日数		20	20	22	20	22	20	21	20	20	185	月平均値	674	月平均値			
第1便(南北循環1便)	8:30着	36	33	49	33	22	42	28	30	41	314	34.9	879	24.4			
第2便(南北循環1便)	8:45発	26	24	42	19	12	32	16	23	22	216	24.0	537	14.9			
第3便(南北循環6便)	14:30着	11	10	16	15	12	24	21	16	11	136	15.1	185	5.1			
第4便(南北循環6便)	14:45発	10	18	29	25	11	40	34	28	20	215	23.9	567	15.8			
月合計		83	85	136	92	57	138	99	97	94	881	97.9	2,436	65.5			

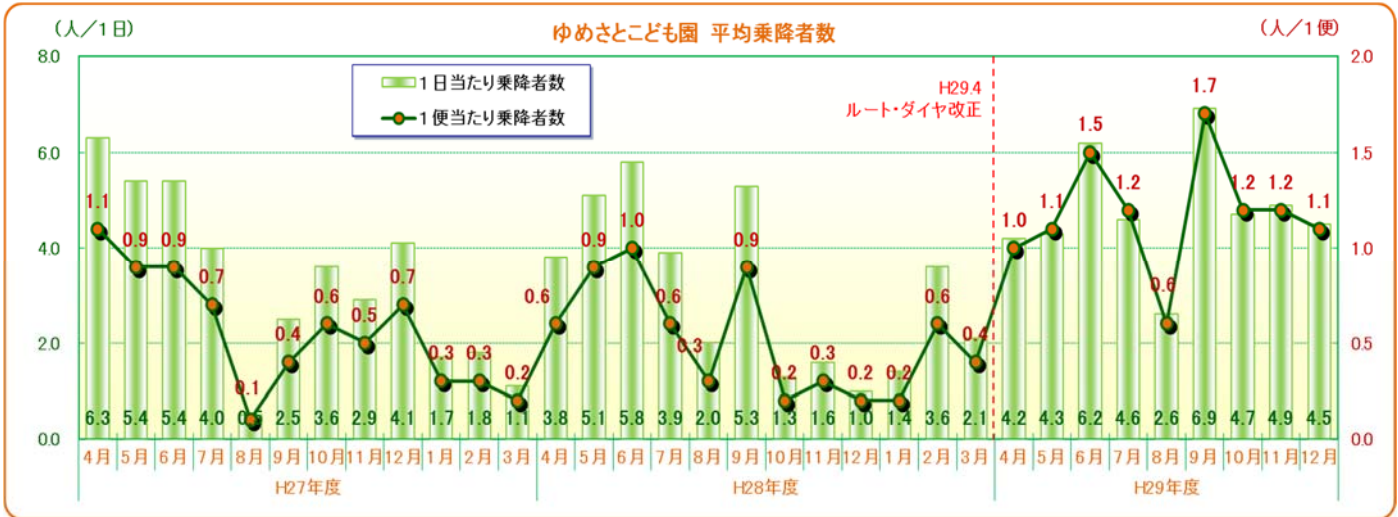
※乗降者数⇒停留所で乗り降りした数の合計

○平成29年度では、第1便(南北循環第1便:ゆめさとこども園8:30着)の利用がもっとも多く、次いで、第2便(南北循環第1便:ゆめさとこども園8:45発)となっている。

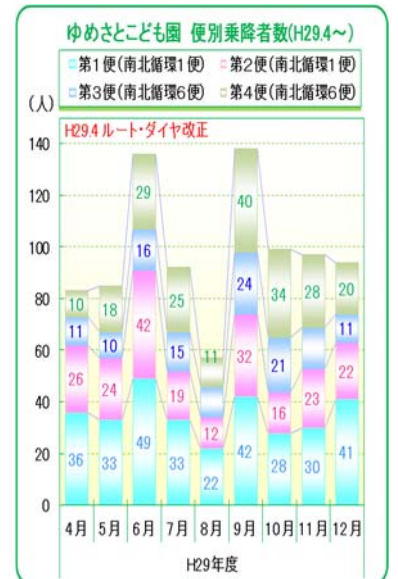
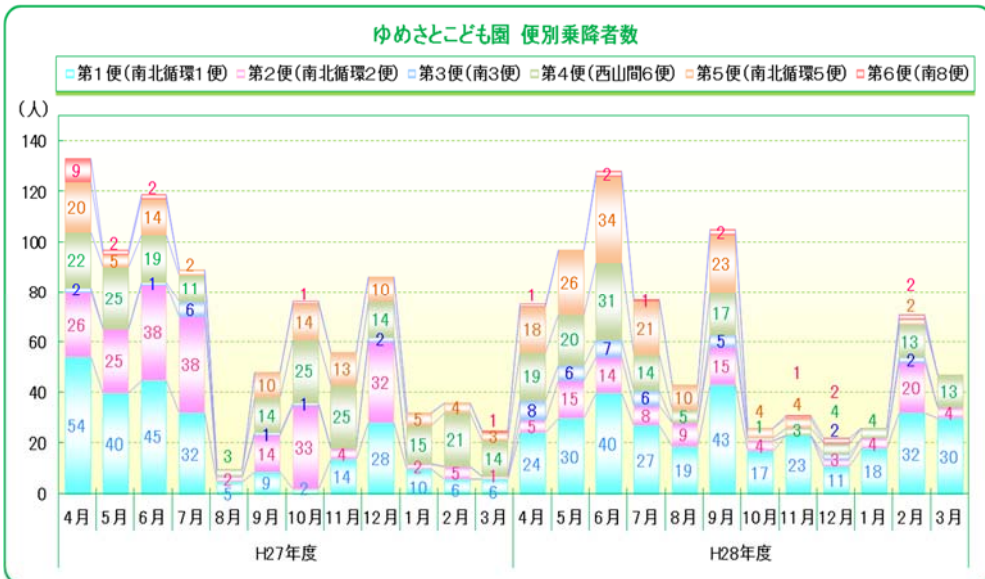
参考1. 年度別・月別利用状況



参考2. 1日/1便あたりの利用状況



参考3. 便別利用状況



平成 29 年 4 月 新設停留所の利用状況（平成 29 年 4～12 月期）

平成 29 年 4 月に新設された「ザ・ビッグエクストラ平群店」および「かんぼの宿大和平群」における、4 月～12 月期の乗降者数を以下に示す。

1. ザ・ビッグエクストラ平群店（8 便/日）の利用状況

表 ザ・ビッグエクストラ平群店 乗降者数

		H29年度												
乗降者数(人)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
運行日数		20	20	22	20	22	20	21	20	20				185
ザ・ビッグエクストラ平群店	西山間ルート	16	35	40	23	30	25	45	42	43	0	0	0	299
	中央循環ルート	107	126	132	122	110	118	155	151	154	0	0	0	1,175
	南北循環ルート	73	86	105	90	83	83	109	101	107	0	0	0	837
	南ルート	34	40	27	32	27	35	46	50	47	0	0	0	338
月合計		123	161	172	145	140	143	200	193	197				1,474
1日当たり乗降者数		6.2	8.1	7.8	7.3	6.4	7.2	9.5	9.7	9.9				8.0
1便当たり乗降者数		0.8	1.0	1.0	0.9	0.8	0.9	1.2	1.2	1.2				1.0

表 ザ・ビッグエクストラ平群店 便別乗降者数

		H29年度												
乗降者数(人)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	H29計
運行日数		20	20	22	20	22	20	21	20	20				185
第1便(南北循環2便)	8:49着	16	26	29	30	20	31	27	21	18	0	0	0	218
第2便(南北循環3便)	9:53着	11	17	23	18	16	15	27	17	16	0	0	0	160
第3便(西山間3便)	10:15着	6	16	20	12	14	14	22	20	19	0	0	0	143
第4便(南北循環4便)	11:41着	35	34	44	28	36	30	47	52	60	0	0	0	366
第5便(西山間6便)	12:17着	10	19	20	11	16	11	23	22	24	0	0	0	156
第6便(南5便)	13:06着	34	40	27	32	27	35	46	50	47	0	0	0	338
第7便(南北循環6便)	14:49着	2	1	2	1	3	1	4	7	3	0	0	0	24
第8便(南北循環7便)	15:59着	5	4	2	1	0	4	0	2	5	0	0	0	23
第8便(南北循環7便)	16:25着	4	4	5	12	8	2	4	2	5	0	0	0	46
月合計		123	161	172	145	140	143	200	193	197	0	0	0	1,474

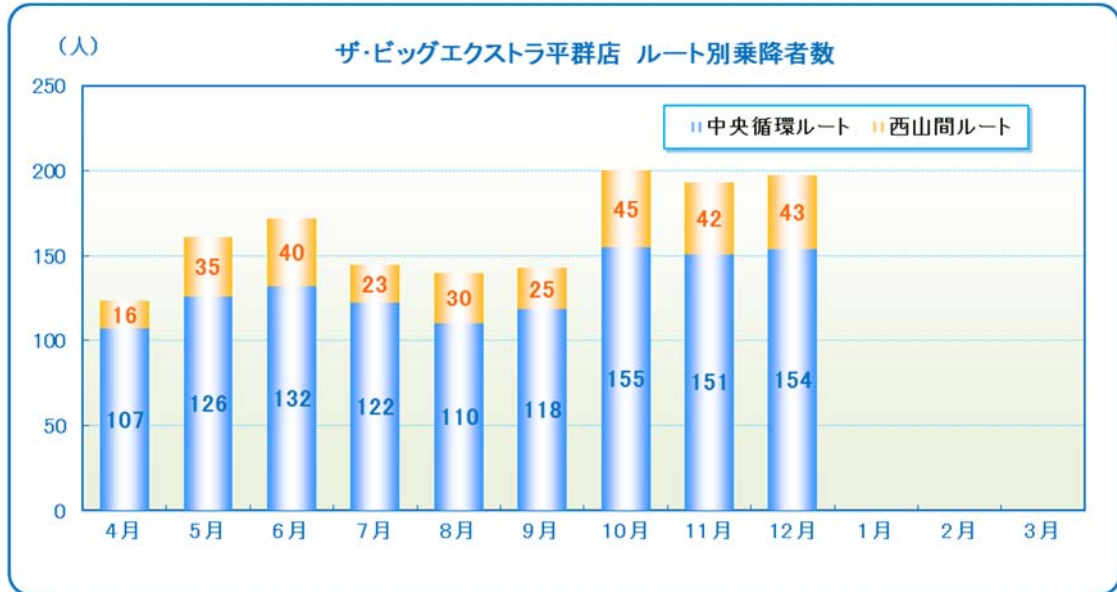
○ザ・ビッグエクストラ平群店 11:41 着(南北循環第 4 便)の利用がもっとも多く、次いで、ザ・ビッグエクストラ平群店 13:06 着(南第 5 便)、ザ・ビッグエクストラ平群店 8:49 着(南北循環第 2 便)となっている。

表 ザ・ビッグエクストラ平群店 平均乗降者数

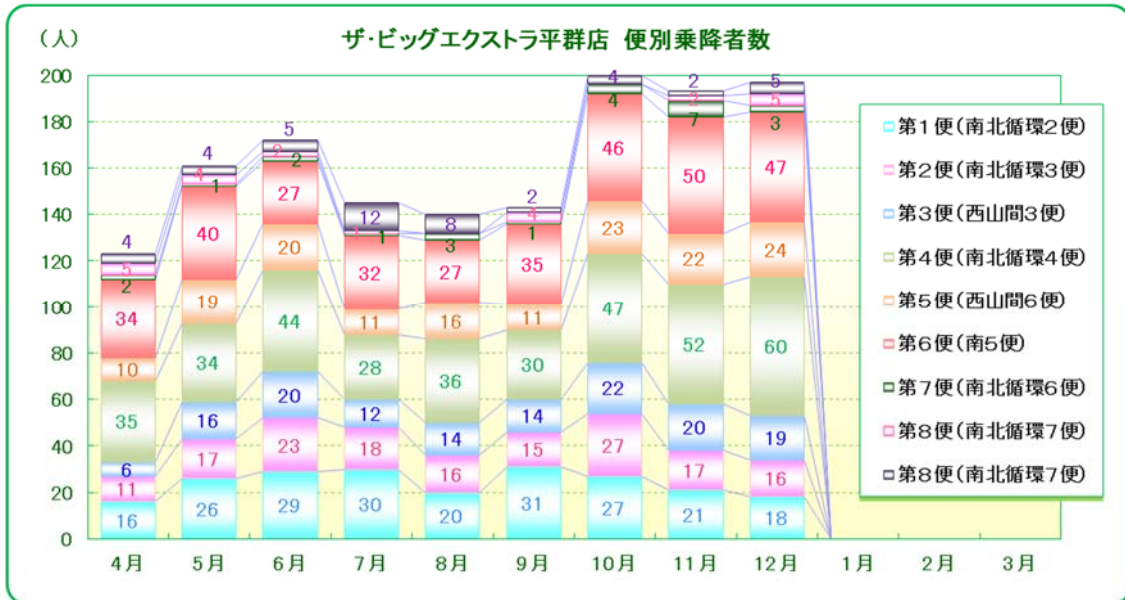
	平均乗降者数(人)
日平均	8.0
便平均	1.0

※乗降者数⇒停留所で乗り降りした数の合計

## 参考1. ルート別利用状況



## 参考2. 便別利用状況



## 2. かんぼの宿大和平群（1便/日）の利用状況

乗降者数(人)	H29年度												計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
運行日数	20	20	22	20	22	20	21	20	20				185
かんぼの宿大和平群	3	1	1	2	2	1	5	2	3	0	0	0	20
1日(1便)当たり乗降者数	0.2	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.2				0.1

○かんぼの宿大和平群の利用は、1日(1便)平均0.1人となっている。

## 視察研修報告

視察日	平成30年1月29日(月)
参加者	地域公共交通会議：岩崎会長、下中副会長 事務局(総務防災課)：課長、主幹、能地
視察先	兵庫県南あわじ市(人口：54,763人、面積：229.17km <sup>2</sup> ) 担当課：都市計画課 ：建設部長、課長、課長補佐
視察目的	デマンド交通を運行している自治体の現状を把握することで、平群町での運行計画検討の参考とするため。

## 視察概要

- ・概要説明及び質疑応答
- ・コミュニティバス視察(デマンド予約無し)

## 市内公共交通

- ・路線バス：広域幹線 洲本・岩屋⇄市内(福良発のみ)
- ・コミュニティバス：6路線(中央縦貫線を中心に5路線は乗継運行)
- ・乗合タクシー：停留所方式(予約型区域運行：2路線)
- ・スクールバス：統合した中学のみ

## コミュニティバス事業概要

- ・H17：4町合併(2町でコミュニティバス運行中)
- ・H20：市内全地域運行化
- ・H25：コミュニティバス利用の少ない地域にデマンド交通導入
- ・H27：新庁舎完成のため路線見直し
- ・H30：デマンド交通廃止、1部地域でのNPOによる地域運行導入
- ・事業費(交通事業者委託費)：1.1億円
- ・市負担金：収支率は約10%、約8割が交付金・県補助、実質市負担金は約1.0千万 ⇒負担限界
- ・利用者数：約9万人、利用者の約65%が高齢者
- ・利用料金

区分	運賃(単位：円)			
	基本料金	回数券 (11枚)	1日フリーパス券	1日フリーパス回数券 (11枚)
大人	300	3,000	600	6,000
中学・高校、65歳以上	200	2,000	400	4,000
市民75歳以上	100	1,000	200	2,000
小学生以下 障害者手帳保持者	100	—	200	—
市民75歳以上 65歳以上免許返納者	1年フリーパス 8,000			

## デマンド型乗合タクシー概要

- ・運行エリア限定：コミュニティバス利用の少ない地域
- ・運行方法：2路線停留所方式、地域内停留所⇄中央縦貫線接続停留所(小榎利)
- ・運行時間帯(目安)：午前7時・9時・12時、午後2時・5時
- ・運行車両：タクシー会社委託(セダン型)
- ・利用登録：要
- ・予約制：午前便(前日午後9時まで)、午後便(出発時間の2時間前まで)
- ・利用料金：コミュニティバスと同じ
- ・経費：400万/年、1万円/回
- ・利用者：当初400人程度が平成28年では146人、利用者数は4人
- ・利用者が少ない理由：人口減少、予約が面倒、キャンセルが忍びない 等



質疑応答等

Q：デマンド運行の起終点は？

A：タクシー会社に配慮してドアツウドアではなく、地区内の停留所形式でコミュニティバス中央縦貫線の最短地である小榎利までで、コミュニティバスに乗り継いでもらっている。

Q：デマンド運行の料金は？

A：コミュニティバスと同じ料金設定です。

Q：デマンド運行は住民要望からか？

A：コミュニティバスの利用者が少なかったので地域の声よりは市から提案で実施した。住民要望であればもう少し利用があったかもしれない。デマンド運行地区は旧来バス路線が無かった地であり、バスに乗る文化がなかった。市内共通であるが、大半が農村部の農家であり、自家用車利用が多い。

Q：福祉運送はしていますか？

A：福祉部門で実施している。

Q：平群町では福祉運送での買い物利用も可能としたが。南あわじ市ではどうか？

A：車利用者が多くバス停までの抵抗が強い。南あわじ市でも障害者と健常者との間のかたの移動支援が課題の一つである。そのため、NPOや地域による自家用有償運送に対する支援内容を検討中である。一部の沿岸地域でNPOが地域から最寄りのバス停留所までの運行を準備中である。

Q：NPOへの支援内容は？

A：検討中ですが、車両購入、運転手確保支援（講習会費用、保険等）等のランニングコストではないか。

Q：コミュニティバスでの通学利用はないか？

A：市内に一つ高校があり通学を考慮したダイヤとなっている。隣市の洲本高校への通学も路線バスへの乗継を考慮したダイヤとなっている。実際、高校生は乗継の待ち時間等から自家用車等の利用が多い。小・中学生のコミュニティバス利用は基本的には無い。統合した中学校はスクールバスを運行している。

Q：ドアツウドアの運行についてはどう思いますか？

A：兵庫県下にも全域デマンド運行の自治体もあると聞いている。既存のタクシー会社との共存がカギではないか。個別の会社ではなくタクシー協会と契約している自治体もあると聞いている。

Q：事業費について、1.1億円以外の市の負担は無いか？

A：広域路線、民間路線に約1.5千万を補填しているが、これもコミュニティバス化なども含め検討中である

Q：交付金補助、県補助はどのような内容ですか？

A：交付金は普通の内容、県補助も県ルールに則ったものです。

Q：市民との対話の仕組みはありますか？

A：特になし。市民アンケートの無作為抽出、運行再編時に対象地域に対する説明会程度。

Q：コミュニティバスからデマンドや地域運行に変えるときの判断基準は？

A：1便あたりの乗者数で、実績に啓発・危機感を煽る分を乗せて設定している。地区、路線によるが2から3人程度である。

Q：淡路交通網形成計画でどこまで具体案を提示しますか？

A：課題出しまで。具体策は策定後に淡路3市間で協議予定。

Q：観光客対応はどのようになりますか？

A：コミュニティバスは生活路線であり、観光客利用には使い難い。今後の課題として観光用の別ルート化等を検討中です。取り敢えず、高速バスと接続している。

Q：利用促進のために何かしていますか？

A：地域性、車保有者・利用者が多く、利用促進は難しいです。

視察状況写真

■協議



■コミュニティバス



(小型バス:28名)

■コミュニティバス



(ワゴン車:11名)



(ワゴン車:9名)

■デマンド交通停留所



「デマンド(予約)型乗合タクシー」の予約受付と時刻表

車種	運行時間(日)	予約受付・取返し
1車、2車	7座席	平日の午前8時以降
3車、4車	9座席	平日の午後5時以降
5車、6車	12座席	休日(予約時間)の2時間以降
7車、8車	22座席	休日(予約時間)の2時間以降
9車、10車	32座席	休日(予約時間)の2時間以降

※10月以降の運行スケジュールは、運行開始前1週間程度、予約について各自の予約センターにてご確認ください。

【お問合せ先】 南あわじ観光タクシー 0120-01-5151

《議案第1号》

## 平成30年度 平群町地域公共交通会議 事業計画（案）

	平成30年									平成31年			備考
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
平群町地域公共交通会議			■								■		2回
利用状況データとりまとめ	■												
公共交通イベント								■					1回
事例視察					■								
改善検討・関係機関協議等	■												

- ・ 無料乗車日も設定予定

《議案第2号》

平成30年度 平群町地域公共交通会議予算(案)

歳入

(単位:円)

款	項	目	予算	説明
1 負担金	1 負担金	1 負担金	1,500,000	平群町負担金
2 補助金	1 補助金	1 補助金	0	国、県からの補助金
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	676,812	前年度からの繰越金
4 諸収入	1 諸収入	1 諸収入	188	預金利子等
合計			2,177,000	

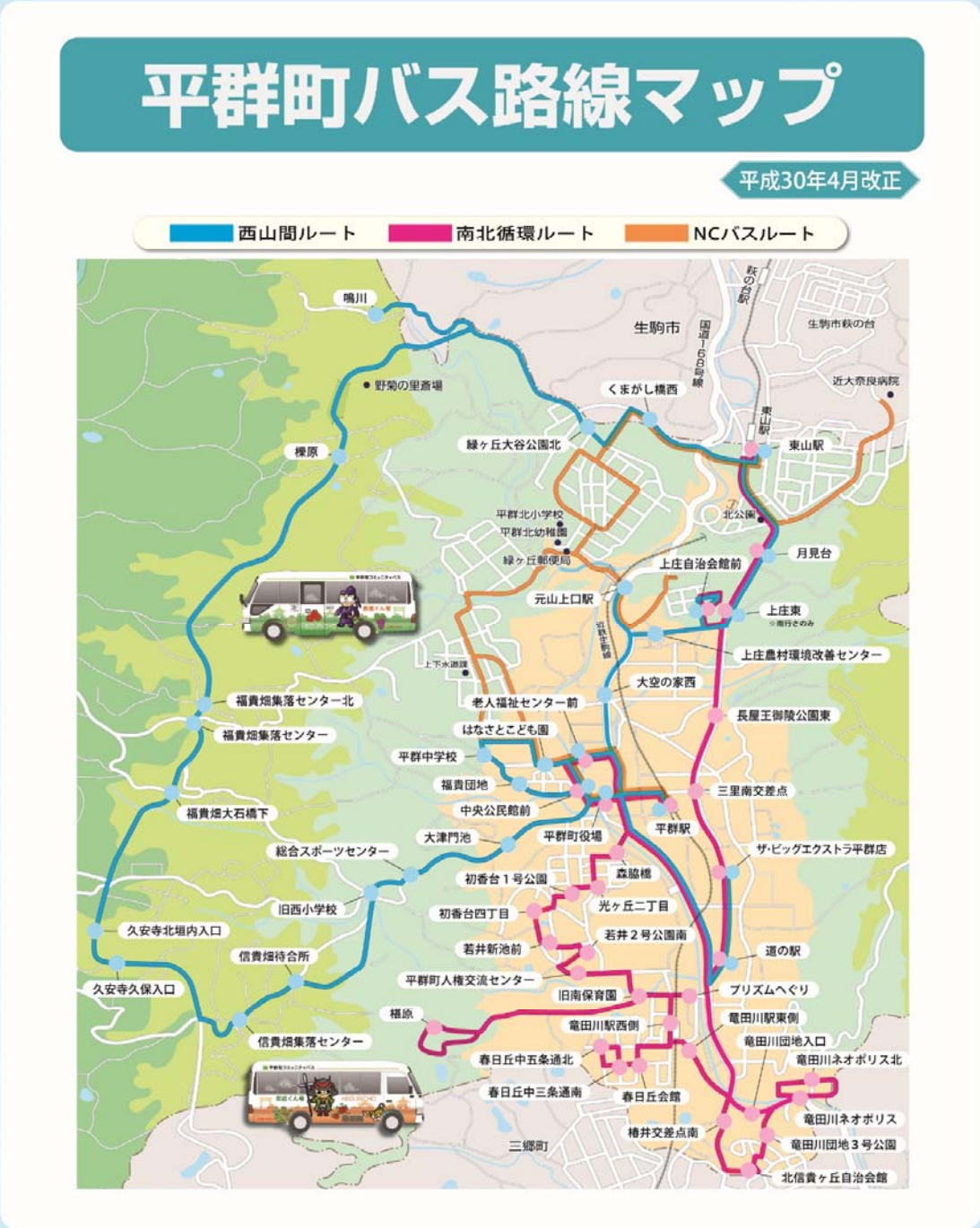
歳出

(単位:円)

款	項	目	予算	説明
1 運営費	1 会議費	1 会議費	90,000	会議運営費
	2 事務費	1 事務費	90,000	研修費等
2 事業費	1 事業費	1 事業費	1,950,000	事業費及事業検証費
3 予備費	1 予備費	1 予備費	47,000	予備費
合計			2,177,000	

平群町コミュニティバス新ルート図・新ダイヤ表

【新ルート図】



お問い合わせ先 平群町役場 総務防災課 ☎ 0745-45-1001

【新ダイヤ表】

平群町 コミュニティバス

平成30年4月改正

平群町コミュニティバスのご案内  
 ○運賃 大人100円 小人50円 (運賃先払い)  
 ○回数券 11枚綴り 大人1,000円 小人500円 (ICカードは利用できません。現金または回数券をご利用ください。)  
 回数券販売場所：バス車内・道の駅  
 ○乗車定員 (24名) を超えますとご乗車できない場合があります。  
 ○障害者手帳をお持ちの方は半額料金

西山間ルート

便	第1便	第2便	第3便	第4便	第5便	第6便	第7便	第8便	第9便	第10便
運行車両	西山間	西山間	西山間	西山間	西山間	西山間	西山間	西山間	西山間	西山間
平群町役場			9:50							
中央公民館			9:51							
老人福祉センター前			9:52							
大空の家西			9:55							
元山山口駅			9:57							
上庄自治会館前			9:59							
上庄自治会館東			10:01							
月見台			10:04							
東山			10:07							
くまがし橋西			10:09							
緑ヶ丘大谷公園北			10:11							
鳴川			10:16							
福貴畑集落センター北			10:21							
福貴畑集落センター	7:50			11:50			15:35			
福貴畑大石橋下	7:51		10:25	11:51			15:36			
久安寺北垣内入口	7:53		10:27	11:53			15:38			
久安寺久保入口	7:54		10:28	11:54			15:39			
福貴畑集落センター	7:57		10:31	11:57			15:42			
福貴畑待合所	7:58		10:32	11:58			15:43			
旧西小学校	8:00		10:34	12:00			15:45			
総合スポーツセンター	8:01		10:35	12:01			15:46			
大津門池	8:02		10:36	12:02			15:47			
中央公民館前	8:03	10:37	12:03							
福貴畑	8:04		10:38	12:04						
平群中学校	8:05		10:39	12:05						
老人福祉センター前	8:07	10:41	12:07							
平群町役場							15:49			
道の駅	8:11		10:45	12:11	12:20		15:52			
ザ・ビッグエクストラ平群店			10:50		12:25					
道の駅			10:52		12:27					
平群	8:30	10:59	11:15		12:34	15:12	16:00	17:10		
老人福祉センター前	8:33	11:18	12:37	15:15	16:03	17:13				
はなさとこども園	8:33	11:18	12:37	15:15	16:03	17:13				
平群中学校	8:35	11:20	12:39	15:17	16:05	17:15				
福貴畑	8:36	11:21	12:40	15:18	16:06	17:16				
中央公民館前	8:37	11:22	12:41	15:19	16:07	17:17				
大津門池	8:38	11:23	12:42	15:20	16:08	17:18				
総合スポーツセンター	8:39	11:24	12:43	15:21	16:09	17:19				
旧西小学校	8:40	11:25	12:44	15:22	16:10	17:20				
福貴畑待合所	8:42	11:27	12:46	15:24	16:12	17:22				
福貴畑集落センター	8:43	11:28	12:47	15:25	16:13	17:23				
久安寺久保入口	8:46	11:31	12:50	15:28	16:16	17:26				
久安寺北垣内入口	8:47	11:32	12:51	15:29	16:17	17:27				
福貴畑大石橋下	8:49	11:34	12:53	15:31	16:19	17:29				
福貴畑集落センター		11:36		15:33		17:31				
福貴畑集落センター北	8:50		12:54		16:20					
鳴川	8:53		12:57		16:23					
緑ヶ丘大谷公園北	9:03		13:07		16:33					
くまがし橋西	9:05		13:09		16:35					
東山	9:08		13:12		16:38					
月見台	9:10		13:14							
上庄自治会館東	9:11		13:15							
上庄自治会館前	9:13		13:17							
上庄農村環境改善センター	9:15		13:19							
元山山口駅	9:17		13:21							
大空の家西	9:19		13:23							
老人福祉センター前	9:21		13:25							
中央公民館	9:22		13:26							
平群町役場	9:23		13:27							
平群	9:28		13:32							

南北循環ルート

便	第1便	第2便	第3便	第4便	第5便	第6便	第7便
運行車両	南北循環	南北循環	南北循環	南北循環	南北循環	南北循環	南北循環
平群町役場							15:08
中央公民館							15:09
老人福祉センター前							15:10
上庄自治会館前							15:11
月見台							-
東山				11:20			-
月見台				11:22			-
上庄自治会館東				11:23			-
上庄自治会館前				-			-
長屋王御陵公園東				11:25			-
三里南交差点				11:26			-
道の駅				11:29			-
ザ・ビッグエクストラ平群店				11:32			15:17
平群町役場				11:39			-
中央公民館前				11:39			-
老人福祉センター前				11:40			-
平群				11:44			-
椿井交差点南				11:52			15:24
北信貴ヶ丘自治会館				11:53			15:25
竜田川団地3号公園				11:55			15:27
竜田川ネオポリス				11:57			15:29
竜田川ネオポリス北				11:58			15:30
竜田川団地入口				12:00			15:32
竜田川駅東側				12:03			15:35
春日丘会館				12:04			15:36
春日丘中三条通南				12:05			15:37
春日丘中五条通北				12:06			15:38
春日丘会館				12:08			15:40
竜田川駅西側				12:09			15:41
プリズムへぐり				-			15:43
旧南保育園				-			15:45
根原	7:45			-			15:48
旧南保育園	7:50			12:10			15:53
平群町人権交流センター	7:52			12:12			15:55
若井2号公園南	7:53			12:13			15:56
若井新池前	7:54			12:14			15:57
初香台四丁目	7:55			12:15			15:58
初香台1号公園	7:56			12:16			15:59
光ヶ丘二丁目	7:56			12:16			15:59
森脇橋	7:58			12:18			16:01
平群町役場	8:00			12:20			16:03
中央公民館	8:00			12:21			16:04
老人福祉センター前	8:01			12:22			16:05
平群	8:06	8:15	9:40	12:30	12:38	16:13	16:20
平群町役場		8:16	9:41	12:39			16:21
中央公民館		8:17	9:42	12:40			16:22
老人福祉センター前		8:18	9:43	12:41			16:23
森脇橋		8:21	9:46	12:44			16:26
光ヶ丘二丁目		8:23	9:48	12:46			16:28
初香台1号公園		8:23	9:48	12:46			16:28
初香台四丁目		8:24	9:49	12:47			16:29
若井新池前		8:25	9:50	12:48			16:30
若井2号公園南		8:26	9:51	12:49			16:31
平群町人権交流センター		8:27	9:52	12:50			16:32
旧南保育園		8:29	9:54	12:52			16:34
根原		-	-	-			16:37
旧南保育園		-	-	-			16:42
プリズムへぐり	8:31	-	-	-			-
竜田川駅西側	8:33	9:55	12:53				16:43
春日丘会館	8:34	9:56	12:54				16:44
春日丘中三条通南	8:35	9:57	12:55				16:45
春日丘中五条通北	8:36	9:58	12:56				16:46
春日丘会館	8:38	10:00	12:58				16:48
竜田川駅東側	8:39	10:01	12:59				16:49
椿井交差点南	8:41	10:03	13:01				16:51
北信貴ヶ丘自治会館	8:42	10:04	13:02				16:52
竜田川団地3号公園	8:44	10:06	13:04				16:54
竜田川ネオポリス	8:46	10:08	13:06				16:56
竜田川ネオポリス北	8:47	10:09	13:07				16:57
竜田川団地入口	8:49	10:11	13:09				16:59
平群町役場	-	10:23	13:21				-
中央公民館前	-	10:23	13:21				-
老人福祉センター前	-	10:24	13:22				-
平群	-	10:29	13:27				-
ザ・ビッグエクストラ平群店	-	10:36	13:34				17:04
道の駅	-	10:39	13:37				-
三里南交差点	8:55	10:41	13:39				17:09
長屋王御陵公園東	8:56	10:42	13:40				17:10
上庄自治会館前	8:59	10:45	13:43				17:13
月見台	9:02	10:48	13:46				17:16
東山	9:05	10:52	13:50				17:20
月見台	9:07						
上庄自治会館東	9:08						
上庄自治会館前	-						
上庄農村環境改善センター	9:10						
大空の家西	9:12						
老人福祉センター前	9:14						
中央公民館	9:15						
平群町役場	9:16						
平群	9:23						



フリー乗車券の利用について

- 「1ヶ月フリー乗車券」で平群町コミュニティバスのすべてのルートで月始めから月末までの1ヶ月間乗り放題。
- 道の駅「大和路へぐり」で販売しております。
- 1枚 3,000円 / 1ヶ月

◆今回の改正により、廃止になったバス停

- ゆめさとこども園
- かんほの宿和平群

※土日・祝日は運行していません。  
 ※12/29～1/3迄運休しております。

お問合せ先 平群町役場 総務防災課 ☎ 0745-45-1001

平群町コミュニティバス需要予測

平群町コミュニティバス需要予測

(2ルート運行)

## 1. 検討目的

平群町コミュニティバスについて、現行の車両3台による3ルート運行から車両2台による2ルート運行に変更した場合の、年間のコミュニティバス利用者の需要予測を行う。

## 2. 町コミュニティバス運行事業の変遷

「平群町地域公共交通総合連携計画」を策定し、平成23年11月から現行の町コミュニティバスの運行を開始した。

その後の町コミュニティバス運行事業の変遷を下表に示す。

表 平群町コミュニティバス運行事業の変遷

年月日	運行内容	変更理由等
H22年度まであいバス運行（西山間ルート・南部ルート）		
H23.11.1 (火)	<b>【平群町地域公共交通総合連携計画に基づく運行開始】</b> ○西山間ルート ⇒運行区間を延伸して運行開始 ○南部ルート ⇒中央循環ルートとして運行開始 ○中央循環ルート ⇒南部ルート+新規ルートで運行開始 ○中央循環ルート ⇒土日祝の運行開始	
H25.11.1 (金)	○中央循環ルート⇒北・南ルートに分割 ○中央循環ルート：土日祝運行廃止	・中央循環ルートの運行時間短縮 ・利用者が少ないため休日運行廃止
H26.11.4 (火)	○西山間ルート：ルート・ダイヤ変更（減便） 停留所新設・移設 ○中央循環ルート⇒南北循環・南ルートに分割 ○南北循環ルート：ルート・ダイヤ変更 停留所新設・移設 ○南ルート：ルート・ダイヤ変更（増便）	・小学校児童の利便性向上 ・地元要望対応 ・ゆめさとこども園への乗り入れ
H27.4.6 (月)	○ゆめさとこども園への乗り入れ	
H29.4.3 (月)	○ザ・ビッグエクストラ平群店への乗り入れ ○かんぽの宿への乗り入れ	・利用者等の要望対応



### 3. 町コミュニティバス利用状況

町コミュニティバスの利用者数の推移は、西山間ルートでは平成26年度の14,760人をピークに減少傾向にあり、平成29年度には最低需要基準である10,000人を下回ると見込まれている。

中央循環ルート（南ルート、南北循環ルート）は、平成27年度に初めて最低需要基準の18,200人を越え18,241人となったが、以後、減少傾向となっている。

表 町コミュニティバス利用者の年度別推移（単位：人）

利用者数(人)	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
西山間ルート	11,707	11,036	11,285	11,167	10,893	10,566	11,616	13,465	13,998	14,760	12,329	10,297	※8,797
中央循環ルート計	9,865	9,849	12,147	14,235	14,749	13,981	13,914	15,581	14,864	14,675	18,241	17,847	※16,099
合計	21,572	20,885	23,432	25,402	25,642	24,547	25,530	29,046	28,862	29,435	30,570	28,144	※24,896
西山間ルート目標値	最低基準 平日/10,000						14,300	14,600	14,900	15,200			(※予測値)
中央循環ルート目標値	最低基準 平日/18,200						29,300	31,300	33,400	35,400			

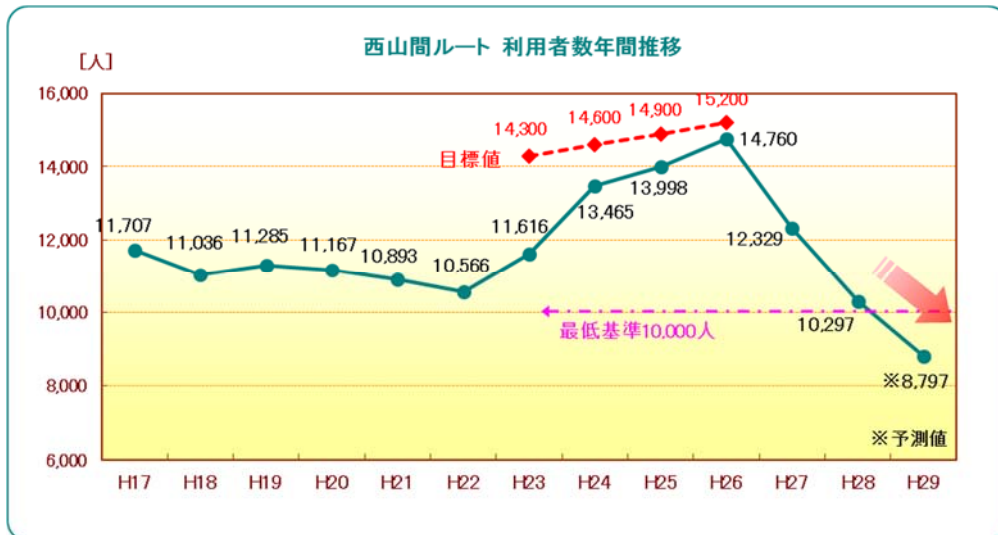


図 町コミュニティバス利用者の年度別推移

#### 4. 利用者数需要予測

平成30年からの2ルート運行における利用者数の需要予測は、平成29年度（4月～12月）の利用者数から需要予測検討を行った。

##### ①予測計算式

便別年間利用者数（人）

$$=（4月から12月の平均日利用者数）× 20日/月 × 12ヶ月$$

##### ②西山間ルート

西山間ルートは、上記の計算式及び追加7停留所増加分を考慮して算定した結果、「表 西山間ルート年間利用者数需要予測」に示すように、9,255人/年となった。

表 西山間ルート年間利用者数需要予測（単位：人）

H29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	日平均×20日×12ヶ月	年間利用者
第1便	12.1	15.1	15.1	11.3	3.0	14.7	15.3	17.8	11.8	12.9×20×12=3,096	3,096
第2便	2.8	2.9	2.9	3.4	5.3	3.0	3.8	3.1	3.0	3.3×20×12=792	792
第3便	5.6	5.5	5.4	4.7	3.8	4.1	4.2	4.3	4.6	4.7×20×12=1,128	1,128
第4便	1.5	1.8	1.2	1.6	1.6	1.4	1.0	0.8	1.0	1.3×20×12=312	312
第5便	0.4	0.6	0.5	0.8	0.9	0.7	0.5	0.8	1.0	0.7×20×12=168	168
第6便	4.8	4.6	3.7	3.6	4.3	4.5	4.3	6.3	5.0	4.5×20×12=1,080	1,080
第7便	3.7	3.3	2.3	1.9	2.7	3.2	2.6	3.3	3.8	3.0×20×12=720	720
第8便	2.7	3.4	3.0	2.7	1.2	2.6	3.8	2.8	2.4	2.7×20×12=648	648
第9便	1.7	1.9	2.5	1.4	1.1	4.2	2.4	2.7	1.6	2.2×20×12=528	528
第10便	1.4	1.6	1.7	1.8	1.0	1.2	0.8	1.4	1.8	1.4×20×12=336	336
増加分	追加7停留所分※1(3便/日)：2.3人/日（H27年度実績） (2.3×0.83※2)×20日/月×12ヶ月=458										458
合計	年間利用者計+増加分=8,797+458=9,255										9,255

※1 追加停留所：月見台、上庄東、上庄自治会館前、上庄農村環境改善センター、元山上口駅、大空の家西、平群町役場

※2 0.83：西山間ルートにおける減便による利用者数減少率（10/12便=0.83）。

### ③南北循環ルート

南北循環・南ルートについては、コミュニティバス利用者の大半を占める高齢者及び小学校のニーズと整合を図った効率的な運行ダイヤを設定したことから、廃止する「ゆめさとこども園」及び「かんぼの宿」の利用者数及び南ルートについて「樫原の通学便」を除く全便の減少分を考慮したうえで、算定した結果、「表 南北循環ルート年間利用者数需要予測」に占め示すように、11,210人/年となった。

#### i) 南北循環ルート

- ・現行の南北循環ルートをベースとしていることから減便の影響が無いものとする
- ・「ゆめさとこども園」及び「かんぼの宿」は廃止することから両施設利用者数を差し引く

#### ii) 南ルート

- ・新規の南北循環ルートへの移行を想定する
- ・減便の影響として、減少率0.46※を樫原からの通学便（第1便）を除く全便に掛ける  
※減少率：南北循環ルートにおける減便による利用者数減便率（7/15便=0.46）を用いる。

表 南北循環ルート年間利用者数需要予測（単位：人）

H29年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	日平均×20日×12ヶ月	年間利用者	
南北循環ルート	第1便	3.6	3.4	4.4	6.2	4.1	4.1	2.4	3.3	3.8	$3.7 \times 20 \times 12 = 888$	888
		ゆめさとこども園減少数：-1.2人（1便当たり平均）×20日×12ヶ月=-576										▲288
	第2便	4.0	4.2	4.0	5.2	4.7	5.9	5.2	5.5	5.1	$4.9 \times 20 \times 12 = 1,176$	1,176
	第3便	3.8	4.3	5.4	3.1	5.5	4.5	5.6	5.5	5.8	$4.8 \times 20 \times 12 = 1,152$	1,152
		かんぼの宿減少数：-0.1人（1便当たり平均）×20日×12ヶ月=-24										▲24
	第4便	6.0	5.5	6.1	6.3	7.0	5.8	8.2	8.3	7.3	$6.7 \times 20 \times 12 = 1,608$	1,608
	第5便	2.2	2.3	1.8	2.4	1.4	1.2	1.6	1.4	2.0	$1.8 \times 20 \times 12 = 432$	432
	第6便	2.4	2.4	3.0	5.7	1.9	3.7	3.7	4.9	2.4	$3.3 \times 20 \times 12 = 792$	792
		ゆめさとこども園減少数：-1.2人（1便当たり平均）×20日×12ヶ月=-576										▲288
第7便	5.9	6.1	5.0	3.0	6.6	6.0	5.6	6.1	5.1	$5.5 \times 20 \times 12 = 1,320$	1,320	
南ルート	第1便	2.9	5.5	6.0	4.5	0.8	6.5	6.8	6.1	4.6	$4.8 \times 20 \times 12 = 1,152$	1,152
	第2便	6.4	6.9	8.2	6.6	7.8	5.5	6.0	6.3	5.3	$(6.6 \times 0.46) \times 20 \times 12 = 729$	729
	第3便	4.0	4.5	4.8	5.4	6.0	4.1	4.1	4.4	3.4	$(4.5 \times 0.46) \times 20 \times 12 = 497$	497
	第4便	5.8	6.0	7.2	7.3	7.6	7.1	6.6	6.4	6.1	$(6.7 \times 0.46) \times 20 \times 12 = 740$	740
	第5便	4.6	5.4	4.4	5.5	4.6	5.4	6.0	6.4	4.9	$(5.2 \times 0.46) \times 20 \times 12 = 574$	574
	第6便	2.8	2.8	3.1	2.7	1.6	1.7	1.9	2.5	3.1	$(2.5 \times 0.46) \times 20 \times 12 = 276$	276
	第7便	2.1	2.9	3.0	2.7	2.4	3.1	2.8	3.6	2.3	$(2.7 \times 0.46) \times 20 \times 12 = 298$	298
	第8便	1.2	1.2	2.5	1.7	2.0	1.8	1.8	1.9	0.8	$(1.6 \times 0.46) \times 20 \times 12 = 177$	177
合計	年間利用者計-減少分=11,810-600=11,210										11,210	

町コミュニティバスの利用者数の需要予測は、

- ・西山間ルート : 9,255 人
- ・南北循環ルート : 11,210 人

9,255 人+11,210 人=20,465 人 ⇒ **年間 約 20,000 人**となる。

④収支率

2ルートの運行経費を年間2,200万円として計上した場合の西山間ルート及び南北循環ルートのそれぞれの予測収支率は下表のとおりである。

結果、収支率が西山間ルートでは6.9%が6.6%に、南北循環ルートでは6.2%が7.9%と予測され、全体では6.5%が7.3%になり改善が見込まれる。

過年度収支実績

表 運行収支予測

年度	ルート	年間運行経費 (円)	年間運賃収入 (円)	年間利用者数 (人)	一人当り 運賃収入 (円)	収支率
		(A)	(B)	(C)	(B) ÷ (C)	(B) ÷ (A)
H28	西山間	12,795,840	884,283	10,297	85.9	6.9%
	南北循環	21,177,720	1,309,480	8,153	73.4	6.2%
	南			9,694		
	合計	33,973,560	2,193,763	28,144	77.9	6.5%

新ルート収支予測

年度	ルート	年間運行経費 (円)	年間利用者数 (人)	平均一人当り 運賃収入(円)	年間運賃収入 (円)	収支率
		①	②	③	④ = ② × ③	④ ÷ ①
H30	西山間	11,000,000	9,255	77.9	721,407	6.6%
	南北循環	11,000,000	11,210	77.9	873,795	7.9%
	合計	22,000,000	20,465		1,595,202	7.3%

## 平成29年度 第4回 平群町地域公共交通会議 議事録要旨

日 時：平成30年2月28日（木）10：00～

場 所：商工会館 2階会議室

出席者：14名

- 1 開会
- 2 前回の議事概要の確認【資料－1（P1－3）参照】
- 3 コミュニティバスのH29年12月末利用実績報告 【資料－2（P4－16）参照】
- 4 ゆめさとこども園のH29年12月末利用状況報告 【資料－3（P17－19）参照】
- 5 新設停留所の利用状況（H29年4～12月期）報告【資料－4（P20－21）参照】
- 6 視察研修報告 【資料－5（P22－24）参照】
- 7 議事  
議案第1号 平成30年度事業計画（案）【資料－6（P25）参照】  
議案第2号 平成30年度予算（案） 【資料－7（P26）参照】
- 8 平群町コミュニティバス新ルート図・新ダイヤ表【資料－8（P27－28）参照】
- 9 平群町コミュニティバス需要予測【資料－9（P29－35）参照】
- 10 その他

### 【配付資料】

- 資料－1：平成29年度 第3回平群町地域公共交通会議 議事要旨
- 資料－2：平成29年12月末コミュニティバス利用実績
- 資料－3：平成29年12月末ゆめさとこども園の利用状況
- 資料－4：新設停留所の利用状況（H29年4～12月期）
- 資料－5：視察研修報告
- 資料－6：平成30年度事業計画（案）
- 資料－7：平成30年度予算（案）
- 資料－8：平群町コミュニティバス新ルート図・新ダイヤ表
- 資料－9：平群町コミュニティバス需要予測

## 【議事内容】

### ○前回の議事要旨確認

#### ○平成29年12月末現在のコミュニティバス・ゆめさとこども園・新設停留所の利用状況

議 長：現行ルートについては残念な結果になりつつあるというのが実際のところですよ。

3、4年前は最高の数字を出しました。西山間ルートと南北循環ルートをあわせて3万人になったのですが、約半分が西山間ルートでした。南北循環ルートについては家、人口もかなり張りついていますので、実際なら3倍か4倍ぐらい乗降客があるのが普通だと思うのですが、それがなかなか伸びてきません。

これからのバス事業についてそのあたりをどういうふうを考えていくかということがそこから垣間見えます

事務局：平成26年度には、西山間ルートは12便運行、中央循環ルートは16便運行していましたが、平成27年度には、西山間ルートは12便から9便に減便、中央循環ルートは15便となり、ゆめさとこども園には1日あたり全ルート合わせて6便が入っておりました。また南北循環ルートとして大変長い便を運行しており、利用者からは「乗りにくい」という意見がありました。

できるだけ利用しやすいようバスのルートやダイヤを変更し、結果的にこのように大きく数字が変わってしまったという経緯があります。平成29年度もその流れは続いており、利用者が減少していることの要因となっています。

議 長：南北循環ルートはかなり人口が張りついているのに、人口の少ない地域が遜色のない輸送人員であったということは、現行ルートの中に便利な部分があるのではないのでしょうか。

駅や店舗等に徒歩で行ける範囲のところに家が立地しているからではないのかと考えます。

今後、そのあたりの分析もお願いしたいです。

運輸支局：西山間ルートはスクール対応から利用者数が多い地域。鉄道沿線に近い南北循環ルートは新たに移住されてきた若い世代、宅地開発とか商業施設を招いているという状況のところではないのでしょうか。

急峻な地域に宅地開発をしたところは、交通の手当てをしていなくて、自家用車で通勤、通学されたり、奥さんが旦那さんとか子供さんを送迎していて、自分も仕事を持ちたいと思っても持てなかったりする実態があります。

将来、車が運転できなくなったときに、公共交通がないので生活できなくなってしまうということを繰り返してはいけないということを言っている学者の方もいます。

将来、維持確保する交通をどこに手当てするかを検討をするために、現状でどの地域に、どの年齢層の方がどのぐらい住んでいるかのデータをとっていただきたいです。

事務局：検討させていただきます。

議 長：今後を踏まえ、できるだけ利用していただくような手だても考えていただきたいです。

#### ○視察研修報告

長 寿 会：平成30年、来年度にデマンド交通を廃止して、一部地域でNPO法人による運行を導入するとあります。これは廃止よりも、一部地域でNPO法人の事業に移管するという考え方なのか、それともNPO法人が独立採算制で運行するので、それに耐え得るところだけは残すという意味なのでしょう。

事務局：NPOの話は調整中でのことでした。内容については具体的な話はまだ進んでいないということですよ。一部の地域でNPOが独自にやってみたいという打診があったということでした。具体的にはまだ進んでいないということです。

議 長：南あわじ市はフルデマンドではない方法で実施をされています。デマンドを利用されている方が百数名

いるけども、実際に個人を特定すると4人だったということで、少し検討しなければならない考えに至っているのが現状です。

### ○議事：議案第1号 平成30年度事業計画（案）

県地域交通課：平成30年度も無料乗車日を設定とのことで、その際に、その方々がなぜ日ごろ乗らないのかというアンケートなりをとって、次につながる施策を打ち出せる取り組みができるような形での実施をお願いします。

事務局：その期間に車内にアンケートを置かせてもらって書いていただくという形で、検討させていただきます。

ボランティア：無料乗車日のアンケートとか、どうして乗らないのかというところを吸い上げていただけるような機関、機会、そういうチャンスがあったらいいと思います。

事務局：平成29年度はこれまであまりアンケートをとっていなかった部分について、何箇所かでアンケートをとらせていただきました。無料乗車日もそうなのですが、乗っていただいている方についてはバスの中にアンケート用紙を置くということができます。

ほかの方の自由意見につきましては検討させていただきます。

議長：去年の秋からずっとアンケートをとりまして、前回の会議で報告がありました。そのあたりももう少しきちっと分析して、吸い上げて、どうあるべきかを今後、検討していただきたい。

ボランティア：平群町のバス停が変わって遠くなり、前の時間のままになっているので、いままでは間に合っていたのに、駅から降りてくるのを見ていたかのように出発されるので、1分でも時間を遅くしていただけたらありがたいです。

NCバス：近鉄ダイヤが少しレギュラーなダイヤになっています。

3月に近鉄が正式なダイヤ改正をされます。その日にあわせてNCバスもすべて接続ができるようにダイヤ改正をさせていただきます。

いま少しご不便をかけていますが、よろしく願いいたします。

議長：公共交通のイベントも考えております。アンケートができるかどうかについても、事務局で検討していただきたい。

議案第1号、承認いただける方は拍手をお願いします。

（拍手多数：承認）

### 議事：議案第2号 平成30年度予算（案）

議長：議案第2号、承認いただける方は拍手をお願いします。

（拍手多数：承認）

## ○平群町コミュニティバス新ルート図・新ダイヤ表

運輸支局：これは今後、全戸配布されます。

可能であれば、NCバスの停留所、下の「お問い合わせ先」には、「NCバスの分についてはNCバスに問い合わせてください」と対応いただけたら、町内の交通を全体的に見られるマップとして役に立つのではないのでしょうか。

事務局：NCバスがよろしければ記入させてもらえたらと思います。

運輸支局：マップをつくるのは費用がかかるが、広告を集めたら結構安くできるということも他地域ではあるようですので、チラシを配布していくとか、何かイベントのときに配布するとか、費用的なところがあればそういったところも当たってみてはどうですか。

委員として来られている方にも配布をお願いしてもいいのではないかと考えます。

町主体というだけでなく、交通会議として啓発活動をするということであれば、協議会としての予算もあります。

事務局：検討させていただきます。

西和警察：「バスを運行していますよ」という広報もいいのですが、住民の人はコミュニティバスの利用率がこれだけ下がっているとか、そういうことは知っていますか。

事務局：利用促進ということで、「利用者が減っております」ということは広報で数回、掲載しました。「町の身近な公共交通としてコミバスをもっと利用していきましょう」という呼びかけは数回しています。「もっと乗ってほしい」ということで、いろいろなところで配っていくということがメインなので、これに関しましても力を入れていきたいです。

運輸支局：自治会の集まりのときにご意見を聞くというよりも、現状はこうで将来どうなるべきかを一緒に考えたうえで、この協議会の計画のほうに反映できたらと思います。

事務局：平群町のコミバスに関しましては、ここ何年間、できる限りいろいろなご意見を賜りながらつくってきました。いろいろな意見をお聞きしてつくった結果、逆に「時間が間に合わない」「行きたいところに行けない」「50分も乗らないと元のところに戻れない」というお話がありました。

いまある程度、方向転換をさせていただくなかで、乗っていないところに関しましてもある程度、精査させてもらいながら、乗りやすい、目的地に早く行けるということも兼ね備えたものにしていかねればいけないのですが、予算のこともあります。

この先も残っていけるようなコミバスを考えながら進めさせていただいております。

議長：危機感を持ってもらったかどうかという話がありました。

これは難しいところで、言いにくいところがありまして、「それだけ利用がないのだったらやめたらいい。町はしんどいものだから」ということで終わってしまったら難儀です。

導入の時点ではそういう動きがございました。「バスが走ってもらえるのはありがたい。毎日、みんなで乗りに行こう」というような空気がありました。それが走るようになりますと、またいつでも乗れるというようになってきているのは事実です。

もう一度、「みんなで育てていく公共交通」という原点に戻って、町当局ももちろんですが、今後ともみんなで考えていくということに進んでいただきたいと考えます。

## ○平群町コミュニティバス需要予測

運輸支局：行政が黒字を追求するとか、収支均衡を目指すというのは本末転倒、負担しないといけない意味があるからやるのではないのでしょうか。

何を達成するためにその交通手段を手当てするかということは忘れてはいけません。目指すべき目的は何なのかということをお忘れにはならないと考えます。

ダイヤ改正とか、地域が変わるとか、バス停を新設する廃止することについても、そのあたりの



目的を忘れないで事務局案を作成していただきたいです。

バス協会：これは非常に消極的なのではないでしょうか。事務局でもコミュニティバスの利用促進を図るような施策をどんどん打ち出していきたいです。自然体で少なくなっていくのが当たり前というような需要予測は期待度が削がれるという感じがしませんでしょうか。これは公共的にも大事な事業ですので、事務局のほうも努力していただいたらどうでしょうか。

事務局：赤字だからやめる、黒字だから続けるという話とは違うと思いつながりながら事業を進めておりますが、ある程度は乗ってもらわないと、のところがありません。

コミュニティバスにつきましてはこの先も、平群町の愛されるコミュニティバスということで、みんなで大切に乗ってほしいと思ってもらえるようなバスにしていくということが、一つのテーマかなと思いつながりながら事業を組んでいきたいと考えます。

いままでは最低基準を持っていましたが、目標が割と高いところがありましたので、いま利用してもらえる状況が、ワンステップだということです。利用促進についてもいろいろご意見をいただきましたので、今後、いろいろな利用促進をしていながらやっていきたいと考えます。

ボランティア：南あわじ市の話で利用者がなくなるところで、予約が面倒だのところ。面倒なことをしないと利用できないというような発想はどうかと、いろいろなところの公共交通を考えていただくなかで、皆さんの利用しやすさを考えていただきたいです。

平群町ではタクシーを使っている方が結構いますが、どういうところに行っていますか。

竜田タクシー：一概には言えないですが、この町に来られたお客さん利用ということで、平群駅前が1台、待機させていただいています。

町内移動になりますと、一番多いのは病院通い、あとは買い物で、いずれにしても高齢者の方が多いというのが全体的な状況です。

議長：当初の連携計画のときには「予測」ではなく、「基準」という言葉で書いておまして、それを下回ると廃止、減便というような方策も考えていました。

今後はこの2ルートでこの数字をできるだけ多く上回るよう、私たち住民、交通会議のメンバー、町行政も一体となってやっていくということで、提示された年間2万人、できるだけ上回るように今後とも協力していきたいと考えます。

## ○その他

長寿会：前回、不特定多数を対象とした移動手段を行ったら、いろいろな規則に違反することになると言われたのですが、特定多数と限定すればこの問題は解決できるのかどうかです。

そのときに発生する交通に対する対価の問題は、今年度の本省の検討内容とのことでしたが、その後、どれくらい進んでいますか。

運輸支局：助け合いの交通ですね。「どこどこに行くから、一緒に乗っていきませんか」という、よく見られるほほえましい姿だと思います。それに対して、サービスを受けた方が自発的に任意の謝料を支払うというのは助け合いの対価であっても有償とは見なしていません。もらうことが前提ではないものと法的には問うておりません。

ただ、「1回くらい」と明確ではなくても、お互いにそういう認識のもとに支払うことが前提であれば、これは有償制と言っており、対価の額がいくらであっても原則的には有償ですので、自家用車でしていただくことはできないことになっています。

長寿会：不特定多数をした場合ですか。

運輸支局：特定されていても不特定であっても同じです。

国としてどこまでを有償と判断していくのかのガイドラインがあり、一緒に連れて行ってあげることによって新たに発生する対価、例えば自分の目的地に真っ直ぐ行っていたらガソリン代はいくらだけ

れども、寄ることによって新たに発生する経費を償っていただく分に関しては、そこまでは有償だという判断はしていません。

長 寿 会：経費の補填ということになれば、必要経費の補填の範囲内であれば有償の対象ではないと考えてもいいですか。

運輸支局：ただし、もともと私が行くことによって発生するタイヤ代、オイル代、保険代など自分が走っても必ず必要となる経費を求めることはできない。そこをいま検討中で、まだ最終的には決定されておりません。また、企業や病院の送迎などは無料でやっているところがたくさんあります、それも本来は需要の範囲、旅客の範囲に入るべき対象かもしれませんが、交通会議で許認可の範囲外ということで置き去りにしてしまっただけでは、地域の交通全体を考えることができませんので、交通会議のあり方を自治体の方にもメールで意見を照会している段階です。

助け合いの交通ですが、助けてくれる人がいるから、助けられる側の人も移動できるということです。助けてくれる人がいなくなってしまうたら、公共交通の利用者が減ってしまうわけです。助け合いをしていたら、タクシーやバスに乗る人が吸い寄せられてしまう。その行く先に、助ける人が助けなくなった、公共交通がなくなってしまう後どうするのか、助け合いや無償運行を検討すべき方向で進んでいます。

長 寿 会：健康寿命が100歳ぐらいまで延びていくのではないかというのが最近の議論になっています。元気な高齢者は自分が存在していることの価値を社会に示したい、また、社会貢献のためには一体何ができるのかといったことを考えています。

乗せてくれた人へ「気持ちとして払います」にすると、制度として運用できなくなるので、最低の経費をチャラにするような、気持ちの料金設定をお願いしないと、気持ちだけの支払いはきれいに見えますが、それを利用したいという人から見ると、いろいろありますので、経費だけでもゼロになるような感じがめどではないかと考えています。

移動に伴って必ず事故が起こります。その事故をサポートできるような、保険とか新しいサポート手段をぜひ考えていただけないでしょうか。

運輸支局：公共交通というのは、来訪者も含む地域住民の方も高齢の方も若い方も世代を問わず、「誰もが、安心して、気がねなく移動できる手段」です。

公共交通は「安心・安全で移動できるものである」というところで、謝礼の程度ではないちゃんと運営できる対価を支払うということに関しては、「安心・安全に移動できるもの」でなくてはだめだということが法律上ありますから、そこに関しては運送事業の許可をとっていただく必要が現状ではやはりあります。

NPOが行う有償旅客運送で交通空白とか福祉目的のものに関しては、公共交通事業者がなし得なくて誰もできないというところで助け合いをルール化した制度のものになっています。公共交通がないようなエリアに関しては検討できるのではないかと思います。この地域の現状を見ると、タクシーを呼べば来てくれる、バスも一定程度地域を走っているところもありますので、なかなか難しいのではないのでしょうか。

長 寿 会：交通事故が起こったときの保険の対応などは留意されていると考えてよろしいですか。

運輸支局：事故が起きたときの対応というのは、単に一緒に乗っている人にけがをさせたということだけではなく、相手方にけがをさせたとか、交通事故は起きなくても急ブレーキを踏んで頭を打つといったこともある。

長 寿 会：任意保険をかけている段階での補償は全部、車を運転している人がやるにしても、私たちのところのものは、要するに下積みでいいのです。

運輸支局：そのあたりは各論になります。

会 長：平群町の公共交通は近鉄、NCバス、コミュニティバス、タクシーになっております。

どうしても公共交通も利用できない、バス停に行くのも歩けない方は、一定の要件はありますが福祉有償運送を社会福祉協議会でやっています。これは先ほどの「私は地域に貢献したい」という高齢のドライバーの方に半分、ボランティア的な費用でやっていただいております、これまで病院だけになっていましたが、買い物などにも使っていただけるようにしています。福祉タクシー、その他の介護タクシーもあります。

公共交通などを利用して元気に楽しく活動することが最終的な目的ではないでしょうか。

平群町のコミュニティバスと、ルートを堅持しておりますNCバスが、平群町を助けていただいていると思います。

NCバス：10年後、20年後の平群町のまちづくりをどうしていったらいいのか、という視点で考えていけないといけません。電車やバスが走っているまちは、元気でいきいきとしたまちだと思います。自分が好きな時間に家を出て買い物に行ったりできるのは公共交通があるからできることであって、そういった活性化されたまちであり続けるべきで、その一翼を担っているのがコミュニティバスやNCバスの路線バスということだと思います。

非常に小規模な会社ですが会社全体で赤字になっています。それでも平群町で路線バスを走らせ続けている理由は、やはりこの地域の公共交通を守って、何とかまちを活性化させたいという使命感です。会社はいまバスが9台しかありません。来年、1台減って8台になります。減る理由はコミュニティバスが1ルート減るからです。8台中3台は来年度からのコミュニティバスに使われる車両で、残り5台が近大病院線とか平群住宅線を走っている当社の路線バスです。

一般に乗合バスの事業は最低6両ないと始められないことになっていますので、6両を下回るような小さな会社になってしまう可能性もあるというぐらいギリギリのところではあります。

コミュニティバスがなくなってしまうと路線バスだけになり、運転者の配置も非常に不合理になり、さらに経営が悪化することで平群町全域から路線バスをやめざるを得ない状況にもなりかねないようなことになります。

私どもとしては何とかコミュニティバス、路線バスを含めて平群町全体を合理的な形で維持していきたい。平群町に来れば大体どこへでも行けるといようなまちにしていきたいと思います。

デマンド交通は便利のように聞こえますけども、デマンドというのは住民の方が予約をして乗り物に乗るということであって、例えば町外の方が平群駅に来られたときにデマンドに乗れるかという利用できないわけです。路線バスとかコミュニティバスがあるからこそ町外からの来訪者も自由に移動ができます。観光や帰省やまちの活性化には不可欠な乗り物だと思います。

NCバスとしては平群町の10年後、20年後の一つのインフラだとバスをとらえていく必要があると思いますので、その貴重なインフラがなくなることをないような形で何とか利用促進をしていただいて、高齢者の方が自由に外出できる、いきいきとしたまちにしていきたいと思います。

長寿会：超高齢化社会になってきますと、自宅のドアから連れていけないといけなくなります。

バスやタクシーの仕事に乗り出していくつもりは全くありません。そこでカバーできないところが出てきた場合に、それを我々で何とかしようと考えています。

議長 長：NCバスさんの営業路線は平群町だけです、県内ではほかに一切ございません。

できるだけいろいろなご利用を通じて、継続できるように一緒に頑張っていきたいと思います。まちづくりのほうにも、いろいろな意味でまたご尽力をお願いします。

ボランティア：バスの運転手さんがすごく感じのいい方ばかりだと、皆さんおっしゃっています。

NCバス：どうもありがとうございます。

以上